



## トップNEWS!!

### 京福問題、福井市案と福井市議会案が新たに提出!! 事態多岐

大詰めを迎えたと思われていた京福問題でしたが、ここへ来て福井市と福井市議会がそれぞれ新たな案を出したことにより事態が混乱の様相を見せています。というのも、二つの案が先に県と沿線首長の間で合意した枠組みとは全く異なり、特に福井市議会案は県の案とは正反対とも言えるものでした。そしてこの時期に、これら案が出されたことにより調整の困難さが指摘され、京福線の存続そのものが危ぶまれる状況に陥っています。そのため福井市、福井市議会に対する怒りの声が各方面からあがっています。

その背景を見てみますと、福井市議会はもともと京福線の存続には反対とする考えが多数を占め、福井市はどのようにして福井市議会を存続賛成の方向へ導いて行けるかに腐心していました。福井市議会の存続反対の理由は、議員それぞれの地盤における住民の思いを背景としており、そこには、現在各地でバス路線が次々と廃止されているという事情があります。なかにはバスを住民の負担で残したところもあります。

そのような状況の中でなぜ電車だけが特別扱いを受けるのかというのがそれらの地域住民の感情のようです。

しかし、この問題の構図は、既に理解されていることで、車中心の社会・市場原理(赤字を受け入れない市場)という言葉が異常気象にあって、政策・財源という雨が降らず、鉄道という幹も弱っている状態のなか、バスという枝葉が真っ先に枯れたということに他なりません。ですから、雨が適度に降り、鉄道という幹が元気を取り戻し、公共交通ネットワークという樹木が再構築されることで、枝葉は再生されるということになります。

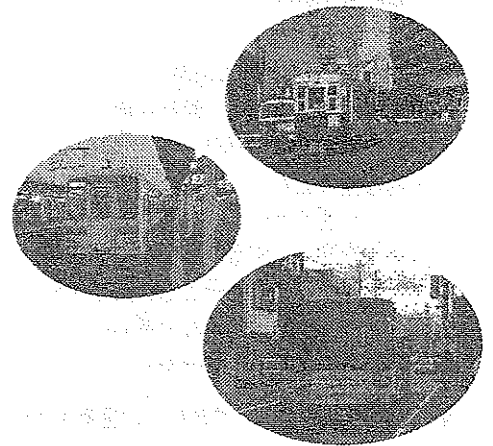
もっと早く電車を残すことに消極的な人たちと対話し、こんな話が伝えられれば、もう少し市民や市議会の反応は違っていたかも知れません。

こんなところがこれからの私たちの活動の課題なのではないでしょうか。

(文:清水 省吾)



現在、使われていない京福電車・西福井駅



## 2002年活動報告

- 1月 6日 「司波寛さんを囲む」懇親会
- 1月 9日 中部運輸局京福線廃線手続きに対する意見陳述
- 1月11日 幹事会
- 1月15日 準備会
- 1月16日~28日 「乗るしくみを考えるチーム」の作業部会実施
- 1月25日 月例会
- 1月27日 「上岡直見さんを囲む」勉強会・懇親会
- 1月30日 公共交通活性化アイデア集、県・福井市提出、全市町村に送付
- 2月 2日 ワークショップまとめ、シンポジウム準備作業  
金沢シンポジウム参加
- 2月 3日 全国鉄道利用者会議シンポジウム  
「どうする 地方都市の鉄道  
—福井モデルから考える地方都市鉄道活性化の方策—」
- 2月 6日 奥越土木研究会参加
- 2月 9日 「消費者大会公共交通問題分科会」参加
- 2月12日 準備会

### 今後の予定【ROBAの会】

- 2月22日(金) 2月例会
  - 2月27日(水) 路線図・時刻表分科会
  - 3月 4日(月) 「さくら電車」企画委員会
  - 3月12日(火) 3月準備会
  - 3月16日(土) 「21世紀の地域構造と  
公共交通のあり方」
  - 3月22日(金) 3月例会
  - 4月 7日(日) さくら電車
  - 4月16日(火) 4月準備会
  - 4月28日(日) ROBAの会・総会 講演会  
PM1:00~5:00(予定)
- \* 詳細についてはHP、事務局にてご確認ください。



ROBA設立から1年

## 総会のお知らせ

総会はROBAの会の1年間を振り返り、次の行動のスタートとなるものです。会員全員が参加し、会員全員でまとめ、次年度の課題を会員みんなで考えましょう。また、記念講演をしていただく武山先生は、RACDA高岡の会員として市民運動する傍ら地域づくり、まちづくり、公共交通を研究されています。軽妙な関西弁でわかりやすく、語りかける話法により、ついつい引き込まれてしまいます。講演後、質疑応答を予定しています。(文：内田 桂詞)

日時：平成14年4月28日(日)13時~17時  
場所：県民活動センター 研修室

記念講演：『まちを再生する公共交通』  
…先進事例に学ぶ活性化策  
講師 武山 良三氏

トップNEWS!!

## 福井市長に酒井氏再選。さて京福線存続の行方は？

3月3日に行われた福井市長選挙で、現職の酒井哲夫氏が新人で元市議の柳沢峰生氏、同じく新人の奥出春行氏を大差で破って3選を果たした。

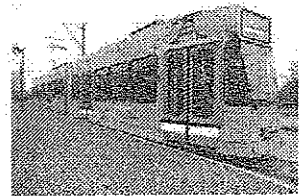
結果は当初から予想されていたものの、酒井氏と奥出氏が京福線存続を、柳沢氏が廃線を訴えていただけに、選挙の結果廃線という事態が起こらなかったのは幸いだった。

しかし、先に福井市が出した京福線存続についての福井市案が知事と沿線首長との間の合意案を無視したものであることに県議会が反発した。福井市の対応が、存続の芽を摘む可能性が否定できない。市と県の調整に以前から酒井市長が自信を表明していただけに、未だに調整が行われていないことに各方面から苛立ちの声が聞こえてくる。

栗田知事が3セクへの県の人的協力に言及し、福井市案の新型電車導入案と運賃の適正化を評価するなど、すり合わせのきっかけをしきりに提供しているだけに、福井市の動きの鈍さが気にかかる。このままでは県議会でも福井市案の全面否定による議決が行われて、福井市の顔も立てたすり合わせが不可能になるのが心配である。

すぐに県と福井市がすり合わせを完了すれば、7月に3セクを立上げ、事業譲渡を受けたうえで、来年1月に運行再開することが可能である。今後の迅速な対応を改めて期待したい。

(文：清水 省吾)



## 2002年活動報告

- 2月22日 2月月例会
- 3月4日 さくら電車イベント部会
- 3月8日 土木学会文化講座  
『先進的なまちづくりと歴史文化を活かしたまちづくり』  
講演：川上さん
- 3月12日 3月準備会
- 3月16日 シンポジウム  
『21世紀の地域構造と公共交通のありかた』  
講演：川上さん、シンポジスト：川本さん、内田さん、美濃部さん
- 3月17日 県民社会貢献活動交流会  
～NPO・ボランティア交流フォーラム～
- 3月17日 公共交通利用拡大フォーラム  
『公共交通でにぎやし～街に』講演：川上さん
- 3月18日 さくら電車イベント部会
- 3月19日 トランジットモール社会実験協議会(最終)
- 3月15日～4月14日 ふくい春まつりラッピング電車運行
- 3月22日 3月月例会

## 今後の予定【ROBAの会】

- 4月7日(日) ふくい春まつり  
「さくら電車」関連事業  
"まちなか数策スタンプラリー(仮称)"実施
- 4月16日(火) 4月作業部会  
(4月より準備会を改称)
- 4月28日(日) ROBAの会総会  
国立富岡短期大学助教授 武山良三先生講演  
(RACDAキャラバンinふくい)

\* 詳細についてはHP、  
事務局にてご確認ください。



トップNEWS!!

## さくら電車 乗って歩いてまちなか散策~さくらの巻~

先日開催されたさくら祭り。準備スタッフまたは当日スタッフとして参加された皆さん、ご苦労さまでした。

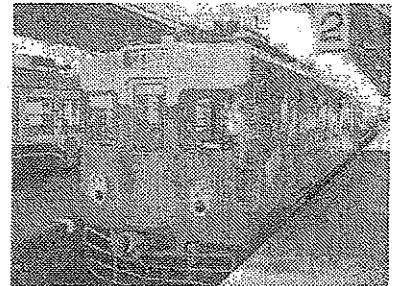
当日4月7日に運転された田原町一ベル前間無料のさくら電車、青年会議所の方よりお聞きしたところでは、ベル前のパークアンドライドが大盛況で、全線で、通常の日曜日の2.5倍程度の乗降客数があった模様です(福鉄推計)。

これにより、普段は電車には見向きもしない人でも、何らかの仕組みときっかけがあれば電車に乗ることがわかりました。この取組は非常に大きいと思います。もっとも、通常はタダというわけにはいきませんが、わがROBAの会が県や県下の市町村に提出した公共交通活性化アイデア集の中にも、この“何らかの仕組みときっかけ”になるものがたくさんあるのかも知れません。

青年会議所の方の話では、電車で初めて乗り、福井ウォークを満喫した子どもが、「福井はこんなところだったんだね」と言ったそうです。普段、親が徹底的に車で送り迎えして、子供たちが感性を磨ききっかけの一つを奪ってしまっているのではないかと心配です。

今年のさくら祭り、桜はもう完全に散っていましたが、それでも結構な人出がありました。そしてさくら電車という、ROBA会員かつ青年会議所メンバーの仕掛け人、佐藤さんの想いの一杯詰まったプロジェクトは福井の公共交通の再生に大きなチャンスを与えることになったのではないのでしょうか。

(文：清水 省吾)



## 2002年活動報告

- 2月22日 2月例会
- 3月4日 さくら電車イベント部会
- 3月8日 土木学会文化講座『先進的なまちづくりと歴史文化を活かしたまちづくり』：川上先生講演
- 3月12日 3月準備会
- 3月16日 日本科学者会議シンポジウム『21世紀の地域構造と公共交通のありかた』：川上先生、川本先生、内田会長、美濃部課長 パネリストとして出演
- 3月17日 県民社会貢献活動交流会～NPO・ボランティア交流フォーラム～
- 3月17日 公共交通利用拡大フォーラム「公共交通でにぎやし～街に」：川上先生講演
- 3月19日 トランジットモール社会実験協議会(最終)
- 3月15日～4月14日 ふくい春まつりラッピング電車登場
- 3月22日 3月例会
- 4月7日 ふくい春まつり「さくら電車」関連事業“まちなかスタンプラリー”実施
- 4月16日 4月作業部会(4月より準備会を改称)

### 今後の予定【ROBAの会】

- 4月28日(日) ROBAの会総会・  
国立富山短期大学助教授 武山良三先生講演  
「まちを再生する公共交通  
・・・先進事例に学ぶ活性化策」
- 5月14日(火) 5月作業部会
- 5月24日(金) 5月例会
- 5月26日(日) アースデーinふくい

\*詳細についてはHP、事務局にてご確認ください。



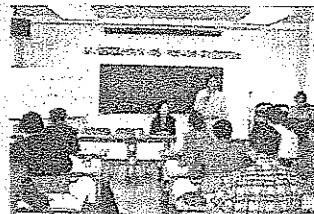


## トップNEWS!!

### 第2回ROBAの会定例総会開催

去る4月28日、県民活動センター研修室においてROBAの会第2回定例総会が開催されました。総会は13時から15時まで行われ、以下の式次第に沿って進められました。

- 開会の言葉.....副会長 高橋八州太郎
- 会長挨拶 .....会 長 内田桂嗣
- 議長選出 .....佐々木宏
- 議 事
  - 1号議案 平成13年度活動報告
  - 2号議案 平成13年度会計決算報告
  - 3号議案 会則改定案
  - 4号議案 平成14年度活動計画案
  - 5号議案 平成14年度会計予算案
  - 6号議案 平成14年度役員改選案
- 報告事項 .....1. 美濃部さんによる液晶プロジェクター贈呈式  
2. 京福問題について
- 閉会の言葉.....清水省吾



昨年2月の設立総会以来2回目の総会。RACDA高岡や全国鉄道利用者会議のメンバーも見学者として参加していただき、佐々木議長の議事進行のもと、活発な議論が展開され、活気のある総会に県外からの見学者にもかなりインパクトが強かったようです。

第2部は記念講演。RACDA高岡顧問で国立高岡短期大学助教授の武山良三先生を迎え、「まちを再生する公共交通.....先進事例に学ぶ活性化策」というテーマで講演をしていただき、大学助教授兼芸人を自称する武山先生の話術と映像に大きな刺激を受けた方が多かったようです。

第3部は親睦会。武山先生、全国鉄道利用者会議のメンバーも交えて、「どんぶり感情」にて開催され交流を深めました。武山先生から「美味しかった」とのメッセージが届きました。

(文：清水 省吾)

## 今年度の役員紹介

- 会 長：内田 桂嗣
- 副会長：畑 みゆき、高橋八州太郎
- 事務局長：清水 省吾、
- 会 計：川口 充康
- 幹 事：岸本 雅行、佐藤 弘之、寺内 義典  
野田 哲生、林 博、三寺 潤、  
橋本 亜由美、村田 一也
- 監 査：佐々木 宏
- 顧問：本多 義明

今年度の役員が、総会にて決定しました。役員の皆様今年度も頑張ってくださいませ！



### ●会費納入のお願い●

ROBAの会も2年目を歩み始めましたが、ここで重要なお知らせです。平成14年度の会費未納の方が多数おられます。直接お支払い頂くか、同封の振り込み用紙にて6月20日にお支払いをお願いします。

郵便振替口座：00760-4-51839  
 口座名称：ふくい路面電車とまちづくりの会  
 会 費：(年間) 一般会員：3000円 学生会員：2000円  
 賛助会員：5000円(企業等)

### 今後の予定【ROBAの会】

- 5月26日(日) アースデーinふくい (福井駅前アップロード)
- 6月 2日(日) ふくい市民会議 (福光高二会議所)
- 6月 8日(土) 岡山・超低床RV「MOMO」試乗会参加
- 6月18日(火) 6月作業部会
- 6月28日(金) 6月月例会
- 7月18日(火) 7月作業部会
- 7月28日(金) 7月月例会
- 7月27日(土) 中野地区路面電車サミット(仮称)in星橋

\*詳細についてはHP、事務局にてご確認ください。



## トップニュース

### 3セク会社設立に第一歩

去る5月22日に開催された京福線存続をめぐる沿線首長会議で負担割合が合意されました。「運行再開後に必要に応じて負担割合を協議する」との一筆を入れたうえでの合意でした。首長会議に続いて、9市町村長で構成する「新鉄道会社設立推進協議会」を設立。酒井哲夫福井市長が会長に、山岸正裕勝山市長が副会長に選出。新会社設立に向けて一歩踏み出しました。その後、福井商工会議所が3セク鉄道への出資を表明、勝山商工会議所も「積極的に考えたい」とし、福井市は3セク会社への出資金を補正予算に組み込んでいます。

とはいえ、京福電鉄からの資産譲渡問題、運行要員の確保、民間の鉄道経営専門家の確保等体制の問題、そして利用促進の問題等課題は山積んでいます。今後、7月の新会社発足に向けてこれらの課題に取り組んでいく事になります。1月の運行再開が困難との報道もありましたが、最大限の努力と工夫を望みたいところです。

ROBAの会も、今後活性化アイデア集の具体化案の作成を通して、市民として3セク鉄道のスタートに、応援、参画、監視という形で関わっていく事が必要でしょう。6月23日に開催された新鉄道会社設立推進協議会主催の「鉄道存続&活用フォーラム」には大勢の市民や関係者が詰め掛け、新鉄道会社設立についての説明に熱心に耳を傾けていたのが印象的でした。

(文章：清水省吾)

## 活動報告

- 4月 7日 ふくい春まつり「さくら電車」関連事業“まちなかスタンプラリー”実施
- 4月16日 4月作業部会（4月より準備会を改称）
- 4月28日 ROBAの会総会・国立高岡短期大学助教授武山良三先生講演  
「まちを再生する公共交通・・・先進事例に学ぶ活性化策」
- 5月14日 5月作業部会
- 5月24日 5月例会
- 5月26日 アースデーinふくい
- 6月 2日 福井市民会議
- 6月 8日 岡山超低床LRV「MOMO」試乗会参加
- 6月12日 路線図・時刻表グループ作業部会
- 6月18日 6月作業部会
- 6月23日 電車存続&活用フォーラム

## 今後の予定

- 6月28日(金) 6月例会・勉強会
- 6月28日(金) 電車新会社社名・路線名募集締め切り
- 6月30日(日) RACDA高岡キャラバン参加&新万葉線見学
- 7月3日(水) 交通ネット部会「福井発：公共交通とまちづくり」と題して勉強会
- 7月16日(火) 7月作業部会
- 7月26日(金) 7月例会
- 7月27日(土) 中部地区路面電車サミット(仮称)in豊橋

## トップニュース

### 新鉄道会社への市民の出資

勝山市の商工会議所・区長会・市民団体が新鉄道会社への出資の枠組みを発表しました。特に、任意団体である市民団体が市民から寄付を募ってとりまとめ、市民団体として新会社に出資する枠組みは興味を引きます。京福線存続問題で常にお手本とされてきた万葉線のケースでは用いられなかったケースだけに、新鉄道会社設立支援室や準備室が枠組みを示さなかった中、新しい方法での枠組みを自ら考案して発表したことに対して拍手を送りたいと思います。

私たちも福井の市民団体として何らかの支援の枠組みを考えたいと思いますが、長野県の第3セクター鉄道「しなの鉄道」が、年会費1万3000円で運行を支えるサポーターの募集を始めたという話も参考になると思います。しなの鉄道の場合は、線路の枕木にネームプレートをつける「レールサポーター」と、車両内にプレートを表示する「トレインサポーター」の2種類から選択するようになっていて、会員は特製の会員証や沿線情報誌がもらえるそうです。プレートが経営改善の切り札になるかどうかはわかりませんが、岡山の超低床LRV・MOMOも車内に寄付者の名前を並べたプレートがあり、実際に市民の寄付がLRVの導入につながった事実があります。

どうやら、出資をからめた1年定期券や特典付き会員制度など、魅力ある出資や寄付の枠組みや、正式な、行政を絡めた出資や寄付の枠組みなど、まだまだ私たちが提案する余地が十分ありそうです。

民間の出資（発起人）が決まらず、会社設立の目的が立たないことが1月運行再開を妨げている本当の理由であることから、後まわしとされている一般市民の出資・寄付が、実は経済界の出資を促すことになると考えられます。私たち市民の意志が今試されていると言えるのではないのでしょうか。

(文章：清水省吾)

## 活動報告

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 5月14日 | 5月作業部会                  |
| 5月24日 | 5月例会                    |
| 5月26日 | アースデーinふくい              |
| 6月2日  | 福井市民会議                  |
| 6月8日  | 岡山超低床LRV「MOMO」試乗会参加     |
| 6月12日 | 路線図・時刻表グループ作業部会         |
| 6月18日 | 6月作業部会                  |
| 6月23日 | 電車存続&活用フォーラム            |
| 6月26日 | 路線図・時刻表部会、アンケート作業部会     |
| 6月28日 | 6月例会・勉強会                |
| 6月28日 | 電車新会社社名・路線名募集締め切り       |
| 7月3日  | 交通ネット部会第1回勉強会           |
| 7月9日  | 交通ネット部会第2回勉強会           |
| 7月10日 | 川上先生講演会（於：福井ソーラーハウス研究会） |
| 7月12日 | 福井大学・ROBAの会特別授業実施       |
| 7月16日 | 7月作業部会                  |

## 今後の予定

- |          |                      |
|----------|----------------------|
| 7月26日（金） | 7月月例会                |
| 7月27日（土） | 中部地区路面電車サミット（仮称）in豊橋 |
| 7月29日（月） | 交通ネット部会第3回勉強会        |
| 8月20日（火） | 8月作業部会               |
| 8月30日（金） | 8月例会                 |



## トップニュース

### 新鉄道会社9月上旬発足へ

去る8月23日、福井商工会議所ビルにおいて新鉄道会社の設立発起人会議が行われました。発起人には沿線9市町村長や民間企業、福井と勝山の商工会議所、勝山市電車利用促進会議、三国町区長会連合会の代表者に加え、ROBAの会の内田会長も名前を連ねました。心配されていた民間出資は、ふたを開けてみれば予定していた額を大きく超えて集まり、ROBAの会からの出資も300万円の申し出を200万円に制限される程でした。

ただ、社長人事は難航し、最終的に社長を引き受けた山岸正裕勝山市長も「社長引き受けは会社設立のためであり、年内には民間人の社長を決めたい」としているほか、京福電鉄との資産譲渡交渉も難航しており、運行再開までのハードルはまだまだ高いというのが実状です。

ともかく、会社設立が決まり、新社名も「えちぜん鉄道」、路線名も「勝山永平寺線」・「三国芦原線」に決まり、運行再開に向けて進みだしたことは大変喜ばしいことです。ROBAの会もこれを一里塚として、さきの「トランジットモール社会実験への参加」、「さくら電車の実施」の成果をも活かして、次なる目標を掲げて活動を展開し、ROBAの歩みを重ねて行きましょう。

## 活動報告

- 7月 3日 交通ネット部会第1回勉強会
- 7月 7日 路線図・時刻表班作業部会
- 7月 9日 交通ネット部会第2回勉強会
- 7月10日 川上会員（福井大学教授）講演会  
（於：福井ソーラーハウス研究会）
- 7月12日 福井大学・ROBAの会特別授業実施
- 7月16日 7月作業部会
- 7月26日 7月例会
- 7月27日 中部地区路面電車サミットin豊橋
- 7月27日 路線図・時刻表班作業部会
- 7月29日 交通ネット部会第3回勉強会
- 8月 1日 路線図・時刻表班作業部会
- 8月 6日 福井鉄道ピア電乗車
- 8月 7日 路線図・時刻表班作業部会
- 8月10日 路線図・時刻表班作業部会
- 8月20日 8月作業部会



←豊橋ピア電



←↑福井ピア電



## 今後の予定

- 8月30日（金） 8月例会
- 9月17日（火） 9月作業部会
- 9月27日（金） 9月例会



## トップニュース！！

### さくら電車4月7日、14日運行利用者アンケート報告書を

### 福井県総合交通課、福井市総合交通課に9月11日提出！！

さくらまつりの期間、福井青年会議所40周年記念事業の一環として福鉄電車の田原町駅⇔ベル前駅間を無料にした企画に、ROBAの会が参画して行なった来街者に対するアンケートの報告書がまとまりました。

この報告書を9月11日福井県、福井市の交通・まちづくり関連所管課所へ提出するとともに、マスコミに公表しROBAの会としてのコメントをいたしました。

具体的には、電車に乗っている人の電車の印象は「良かった」とする人が圧倒的に多く、ふだん車に乗っている人も無料電車に乗るためにP&Rを活用していることが確認されました。また、JRをはじめ福鉄、廃線が決定している京福電車でも70%相当の人は条件次第では必要としている事がわかりました。さらに、自由意見では電車の必要性を強く訴える反面、改善改良の声も多く利便性を高めることが利用者の増加に必要であることがアンケート結果であらためて判りました。(文:内田)

## 活動報告

- 9月10日 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会 9月第2回
- 9月13日 松本英輝氏講演会「この星のエコロジストたちの詩」(環境を考えた暮らしを考える)  
エコプラン・ROBA共催
- 9月15日 近鉄北勢線存続決定記念シンポ (桑名市:桑名市民ホール)(清水会員が参加)
- 9月17日 9月作業部会
- 9月21~24日 松山市「歩いて喜ばせるまちづくり社会実験」視察&岡山「MONO」視察・試乗会  
(企画:岐阜未来研究団)
- 9月24日 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会 9月第3回
- 9月24日~10月3日 ヨーロッパ・トラム視察(川口会員・清水会員が参加)
- 9月27日 9月例会

## 今後の予定

- 9月28日(土) 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム③ 「よみがえるバスと進化するタクシー」
- 10月1日(火) 福井市「住みたくなるまちづくり委員会」第一回
- 10月4日(金) 交通ネット部会10月第一回
- 10月6日(日) みんなで歩こう 昔なつかしい鯖浦線(9月20日17時申込締切)
- 10月6日(日) 岐阜市 「全日本ひっぱれ路面電車」
- 10月10日(木) まちづくりNPO懇談会
- 10月11日(金) 土木学会関西支部「LRTによる都市づくりに関する講習会」美濃部会員出演(9/30申込締切)
- 10月15日(火) 10月作業部会
- 10月19日(土) 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム④ 「LRT(次世代型路面電車)の可能性」
- 10月23日(水) 福井鉄道福武線活性化検討協議会(10:00~12:00)
- 10月25日(金) 10月例会

(文:清水)



## トップニュース！！

### えちぜん鉄道近況

京福電鉄とえちぜん鉄道間の資産譲渡交渉が9月に決着し、9月県議会で予算案が可決されました。また、懸案となっていた代表取締役専務にセーレンの見奈美 徹氏が就き、山岸正裕勝山市長の当面の社長兼務も示唆されました。そして、京福電鉄が廃線予定日を繰り下げ、代行バスは路線バスとして運行継続となりました。このところの鉄道運行再開に向けての大きな前進は喜ばしい限りです。

ただ、代行バスによる運行になって鉄道の4割まで減った乗客を鉄道運行再開後どう回復させるのか等、山積する問題の解決が必要なことを忘れるわけにはいきません。

幸い社長の山岸市長は、えちぜん鉄道に新しい概念を求めているため、その点は大いに期待ができます。今、私たちROBAの会にも、その全く新しい鉄道の概念を支える活動が求められているといえるでしょう。近い将来三国芦原線電車が乗り入れるであろう福井鉄道福武線と中心市街地のまちづくりの問題解決も含めて、全国から視察に来るような地方鉄道とまちづくり・地域振興の新しいタイプの成功事例を創り上げる必要があるのではないのでしょうか。  
(文・清水)

## 活動報告

- 9月28日 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム③ 「よみがえるバスと進化するタクシー」
- 10月1日 福井市「住みたくなるまちづくり委員会」第一回
- 10月4日 交通ネット部会10月第一回
- 10月6日 みんなで歩こう 昔なつかしい鯖浦線(9月20日17時申込締切)
- 10月6日 岐阜市 「全日本ひっぱれ路面電車」
- 10月8日 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会 10月第一回
- 10月10日 まちづくりNPO懇談会 第一回
- 10月11日 土木学会関西支部「LRTによる都市づくりに関する講習会」美濃部会員出演(9/30申込締切)
- 10月15日 10月作業部会
- 10月19日 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム④ 「LRT(次世代型路面電車)の可能性」
- 10月22日 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会 10月第二回
- 10月23日 福井鉄道福武線活性化検討協議会(10:00~12:00)
- 10月25日 10月例会
- 10月26日 交通ネット部会10月第二回

## 今後の予定

- 11月5日(火) 福井市「住みたくなるまちづくり委員会」第二回
- 11月6日(水) 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会
- 11月7日(木) まちづくり懇談会 第二回
- 11月10日(日) 都電沿線の文化祭 in 荒川ゆうえん(鹿児島、熊本、長崎、岡山、広島、松山の協力) 企画: 都電ネット
- 11月12日(火) 11月作業部会
- 11月16日(土) 関西圏の都市再生を考える国際シンポジウム  
「日米のNPOが模索する「持続可能な社会を支える交通・まちづくりネットワーク」
- 11月22日(金) 11月例会
- 11月30日(土) 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム⑤ 「公共交通のネットワーク化を考える」

## 活動報告

- 11月5日 福井市「住みたくなるまちづくり委員会」 第二回
- 11月7日 まちづくり懇談会 第二回
- 11月10日 「都電沿線の文化祭 in 荒川ゆうえん」(鹿児島、熊本、長崎、岡山、広島、松山の協力) 企画：都電ネット
- 11月12日 11月作業部会
- 11月15日 交通ネット部会
- 11月16日 関西圏の都市再生を考える国際シンポジウム  
～日米のNPOが模索する「持続可能な社会を支える交通・まちづくりネットワーク」
- 11月16日 「福井・鯖江・武生連合都市圏」福武線スタンプラリー
- 11月16日 (社) 福井青年会議所創立40周年記念講演 上田惇生氏  
「ドラッカー経営思想の真髄—ネクスト・ソサイエティへの道」
- 11月16日 高知・岡山ツアー参加 (RACDA 高岡ツアー) 土佐電鉄の電車とまちを愛する会との交流会
- 11月17日 高知・岡山ツアー参加 (RACDA 高岡ツアー) 路面電車と都市の未来を考える会との交流会
- 11月18日 市民活動セミナー写真パネル作業部会
- 11月19日 路線図・時刻表班 公共交通マップ作業部会
- 11月22日 11月例会

## 今後の予定

- 11月26日(火) 福井鉄道福武線活性化検討協議会先進地視察 高岡・万葉線
- 11月30日(土) 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム⑤ 「公共交通のネットワーク化を考える」
- 11月30日(土) ROBAの会11月作業部会の模様テレビ放送 福井テレビ16時10分「こんにちは市役所です」
- 11月30日(土) 「鉄道存続のまちサミット IN かつやま」事前会議
- 11月30日(土) 「鉄道存続のまちサミット IN かつやま」開催に合わせた市民団体交流会 IN 福井 by ROBA
- 12月1日(日) 「鉄道存続のまちサミット IN かつやま」基調講演・国土交通省講演・事例発表・本会議
- 12月5日(木) まちづくり懇談会 第三回
- 12月7日(土) まちかど探検隊(大阪)来福
- 12月7日(土) 市民活動セミナー2002「コラボしよう！」
- 12月8日(日) 市民活動セミナー2002「コラボしよう！」
- 12月17日(火) 12月作業部会
- 12月27日(金) 12月例会

→ 終了後「忘年会」だよーん。

## 「鉄道存続のまちサミットIN かつやま」が開催されました！

去る12月1日（日）に勝山市民会館大ホールにて地方鉄道会議が開催されました。

基調講演は「地域振興と鉄道」と題して、関西大学の安部誠治教授が講演されました。地方鉄道における特性や鉄道存続の方策等、要点をついた内容で話をされて、「うーん納得！」と、改めて地方鉄道についての現状を理解しました。

事例発表は「三岐鉄道」「松浦鉄道」の2つの事例の発表があり、このうち三岐鉄道の“地域と密着した運営でがんばっている例”として、女性駅長・パークアンドライド・自転車の持ち込みOKを始めとした、ROBAでも提案しているハードからソフトの部分の部分をきっちり実践しているようです。

サミット会議は上岡直見さんを議長に、意見交換やサミット宣言等の採択を行いました。ここでちょっとしたハプニング？があり、一部の沿線市町村の方が帰られてしまい、会場からの意見として4名の方が発表をされました。

サミットが終わって何日か過ぎました。今こうして資料を手に読み返して、やっぱり公共交通はまちづくりには欠かせないぞ！と思います。本当の意味での私達の足になるように、一日も早くそんな日が来るように、みんなの協力とひとり一人の心がけや思いやりが大事だなあーと、つくづく思いました。

追伸…満員の会場には、いまだきの若いおにいさんやおねえさん、おくさまの姿がちらほら見えました。（報告 はた）



安部先生の講演



サミット風景



入口で電車のある風景の絵画が展示されていた

### 『鉄道問題 市民団体交流会 byROBA』を開催する！

日時：平成14年11月30日 19:00～21:30

参加団体：北勢軽便鉄道をよみがえらせる会、阿下喜駅を残す会、全国鉄道利用者会議  
ふるさと線を守る東日本連絡会

参加者：(ROBAの会) 高橋、清水、佐藤、谷村、門、玉井、坂川、内田  
(京福問題から福井の未来を考える市民連合)堤端  
(前掲4団体) 6名 全15名

翌日開催される地方鉄道サミット（勝山）に参加する市民団体の方に呼びかけし、市民団体としての問題点や対処策について意見交換をいたしました。内外で活動しておられる団体との交流は、これからも機会あるごとに実施していきます。みなさん、是非参加して下さい。



## トップニュース！！

### えちぜん鉄道運行再開スケジュールが決定 —さよなら京福電車—

えちぜん鉄道では1月16日、取締役会を開き、3分割による部分運行再開スケジュールを決定、発表した。

#### ■第一段階・・・7月初旬～中旬目標

福井～東古市（勝山永平寺線） 10.9Km

福井口～西長田（三国芦原線） 11.7Km

#### ■第二段階・・・8月初旬～中旬目標

西長田～三国港（三国芦原線） 13.5Km

#### ■第三段階・・・9月末～10月初旬目標

東古市～勝山（勝山永平寺線） 16.9Km

西長田、東古市駅は折り返し用信号設備、待避線があるため、短時間での折り返し運転が可能で、ダイヤ編成の柔軟性が確保されることから、それらを勘案し、工事の完了したところからの運行再開を行うことになった。今後の課題は、一日も早い運行再開をめざし、詳細な運行開始日を検討していくこと、及び、京福代替バスとの連携強化ということになる。年が明けて早々、具体的な運行スケジュールが示されたのは本当に嬉しい限りである。2月1日には晴れて京福電鉄からえちぜん鉄道に対して正式な事業譲渡が行われる。

1月25日、26日の両日、福井口車庫で開催されたさよならイベントでは夕暮れの中並べられ、ヘッドライトがともされた電車がタイフォンを一齐に鳴らして京福電鉄としての別れを告げた。演出もあったが、物悲しい、こみ上げてくるものがあった。電車は半年後には部分運行を再開するが京福電車として走ることはもうない。大変な経営環境の中、本当にご苦労さまでした。私たちはあなたを決して忘れない。

そして今後は私たち県民が電車を支えていくことになる。それを強く認識しなければならない。 (文：清水)

## 活動報告

- 1月9日 まちづくり懇談会 第四回
- 1月10日 交通ネット部会
- 1月14日 交通マップ部会
- 1月14日 「住みたくなるまちづくり」委員会 第三回
- 1月18日 京都の公共交通の未来を創る市民フォーラム⑥ 「公共交通は誰が支えるのか」
- 1月18日 幹事会
- 1月21日 1月作業部会
- 1月24日 路面電車どうしよう会議（岐阜）第二回
- 1月25日 「住みたくなるまちづくり」ワークショップ
- 1月26日 福井鉄道福武線再生案づくり作業部会
- 1月30日 交通アドバイザー会議
- 1月31日 1月例会

## 今後の予定

- 2月1日（土） 薬谷氏まちづくりセミナー
- 2月1日（土） まちづくり懇談会 第五回
- 2月15日（土） 路面電車ネットワーク設立総会（東京）
- 2月15日（土） ユニバーサルデザインワークショップ
- 2月18日（火） 2月作業部会
- 2月22日（土） 路面電車どうしよう会議（岐阜）第三回
- 2月28日（金） 2月例会



## トップニュース!!!

### えちぜん鉄道に新車両 次は福井鉄道にLRVを!

このほど、えちぜん鉄道では愛知環状鉄道で余剰となる車両を譲り受けることが決まった。えちぜん鉄道ではかねてより京福電鉄時代のイメージを払拭すべく、新たな車両の導入を模索していたが、ちょうど愛知環状鉄道が沿線で開催される愛知万博に備えて新車両を導入、従来の車両が余剰になったため4両を譲り受けることになった。

愛知環状鉄道では平成17年の愛知万博終了までに車両を全て新型に置き換えるため、従来の車両を引続き放出する予定で、えちぜん鉄道では今後も随時譲渡交渉を行う。

えちぜん鉄道が導入する車両は製造後14、5年しか経っておらず、まだまだ新しい部類。4人がけボックス(クロス)シートとロングシートの両方を備えており、えちぜん鉄道の中では新鮮に映るかも知れない。そんな“!”に期待したいところ。

そして次はやはり福井鉄道、ここは元々車両さえ入れ替えれば立派なLRTになる鉄道だけに、LRV導入を働きかけていきたいところ。LRVがえちぜん鉄道三国芦原線に乗り入れればここもLRT。三国芦原線本来の歪な線形が解消されて潜在需要も大いに顕在化するだろう。

福井におけるLRT推進については既に充実した線路網があるだけに、LRTの新規導入を計画する全国の他地域の事例に比べればその投資額ははるかに小さいが、福井の公共交通再生に及ぼす効果は非常に大きい。ここがROBAの会の働きどころかもしれない。(文:清水)

### 活動報告

- 2月1日 森谷氏まもづくりセミナー/まもづくり懇談会 第五回
- 2月1日 中部運輸局福井運輸支局との懇談会
- 2月8日 交通マップ部会
- 2月13日 県・福井市合同 市街地交通処理に関する部会
- 2月14日 「生みたくなるまもづくり」委員会 第四回
- 2月15日 全国路面電車ネット設立準備会 (東京)
- 2月15日 ユニバーサルデザインワークショップ
- 2月17日 県・福井市とのバスマップ・福祉活性化検討協議会提出ペーパー打合せ
- 2月18日 2月作業部会 / 交通マップ部会
- 2月21日 安全学研究所藤沢との面談
- 2月22日 路面電車どうしよう会議(岐阜) 第三回
- 2月28日 2月例会/交通マップ部会
- 2月28日 懇談会「福井県の都市計画について」講師・五十嵐さん

### 今後の予定

- 3月1日(土) 第2回福井県県民社会貢献活動交流会
- 3月4日(火) ROBA勉強会「福井における条件下でのLRV導入」講師:シーメンス 田中信吾氏
- 3月6日(木) まもづくり懇談会 第六回
- 3月18日(火) 3月作業部会
- 3月20日(木) 路面電車どうしよう会議(岐阜) 第四回
- 3月28日(金) 3月例会

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

#### 「通行帯のデザイン」

津田美知子 技報堂出版 3200円+税

都市計画を仕事にしている私でも、道路交通法の路側帯と道路構造令の路肩が物理的には同じ物を指しているが、前者は歩行者等の通行空間を、後者は車道のための空間として異なる目的であることをこの本を読んで初めて理解した。

先月紹介した「マイナスのデザイン」の続編ともいえるこの本であるが、日本の道路整備が車道中心に計画されてきたこと、歩道を通行帯として意識されていないことなど、もっともな指摘である。道路を車が走りにくい構造にして、歩行者が歩きやすい構造にすることはもちろん大切である。しかし、免許をとったときに教習所がくれる本には、歩行者を追い越す時は1.5m以上間を空けることなど、歩行者保護は徹底的に情報としては警察は教えているのであり、それが守れば、歩車道非分離道路はすべて自動的にコミュニティ道路になるのだが。(美濃部)

## 利用者が作るバス電車マップ「ふくいのりのりマップ」が完成!

3月26日に、ROBAの会設立当初から取り組んできた、公共交通マップがついに完成しました。昨年も、「地域時刻表：ROBA・うちの時刻表」などを作成して発表してきましたが、高齢社会の先行する地方都市において、公共交通機関の利用促進の重要性を広く提言し、普及させていくためには、まずそのベースとなる利用しやすいマップが不可欠だということで、みんなで取り組んできましたが、二年目を迎えようやく、待望のバス電車マップが完成しました。その名も「のりのりマップ」です。

これをきっかけに、福井のみんなの手に、あるいはみんなの意識の中に、バス電車マップがイメージされ、安心して気軽に乗ってもらえるようになり、子どもやお年寄りの行動範囲が広がり生活にもゆとりが生まれ、公共交通事業も支えられるようになっていくことを期待したいとおもいます。

ただし、普及の方法については、販売ルートを持たない私たちとしては、まずはバス事業者や行政、教育委員会を通じた普及を主体としながら、徐々に本屋、プレイガイドなどにも広げていくことにせざるを得ないとおもいますが、景品としての購入などさまざまな提案も出始めており期待が持てます。

また、このマップを使って利用者、行政、事業者がもっと使いやすくする工夫を話し合うための材料にもしていきたいし、教育の場でもこのマップに大いに活躍してもらいたいとおもっています。

さらに、これまで岡山をはじめ、広島、高知、岐阜などにおいても市民によるバスマップが作成されており、私たちの活動もその一連の活動と考えており、これまでの成果の上に工夫を重ねたつもりです。そのため、今後、全国の活動グループに呼びかけて、それぞれの活動を相互に支援していく必要があると考えています。それによって、それぞれの地域の事情を考慮した活動が、全国的な公共交通の再評価と、地域ごとのきめ細かな対応へつなげていければよいと思います。

日本中どここの都市にも利用者本位の公共交通マップが備わっていて、どこの都市のマップも基本的な読み方は同じで、それぞれに特色があると、どれほど便利で楽しくなるかわかりませんね。(はやしや)

### 「ふくい のりのりマップ」

—ひとつでえべりな

#### 福井のバス電車マップ—

企画・発行：ふくい路面電車とまちづくりの会（ROBAの会）

協力：福井県バス協会

・B2版（8屏風折、Z折）表紙付、  
両面フルカラー 5,000部

・福井県全県マップ（嶺北：20万  
分の1、嶺南：30万分の1）

・福井市街地マップ（2万分の1、  
中心部拡大図：8千分の1）

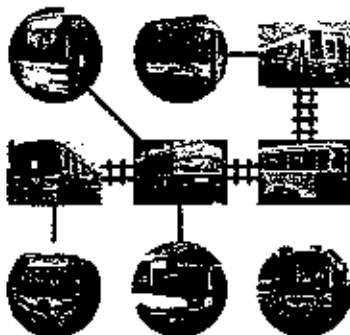
なお、この他に表紙なし：1,000部、

B3版ミニサイズ：3,000部も同時

に印刷し、多様なニーズに対応できるようにしました。 右は表紙カバー

### のりのりマップの特色

- 利用者の使い勝手を優先したバス電車路線図  
誰でもわかる本屋向けのミニマップ表示
- 全路線通し番号、市町村別路線統一番号付付  
路線番号・名称、利用時間・行先、乗車・降車時刻、乗車・降車  
料金・駅名、乗車（平日・土・日）、乗車料金を表示
- ROBA独自の駅図（路線・路線番号マップ）  
R（乗車）、D（降車）駅、E（乗降）、A（駅内案内）かつ以上  
表示の駅名を表示

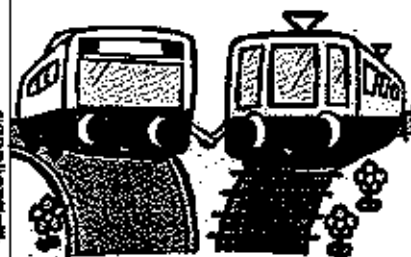


ふくい路面電車とまちづくりの会 ROBAの会  
 〒910-0006 福井市南1-11-7 福井県庁5階505号室  
 ふくい県民センター内 ROBAの会  
 TEL 076-233-0101 FAX 076-233-0102  
 E-MAIL roba@roba.or.jp  
 福井県全県マップ（嶺北）  
<http://www.roba.or.jp/roba/roba-map/> 定価200円

2008年4月第1刷



—ひとつでえべりな福井のバス電車マップ—



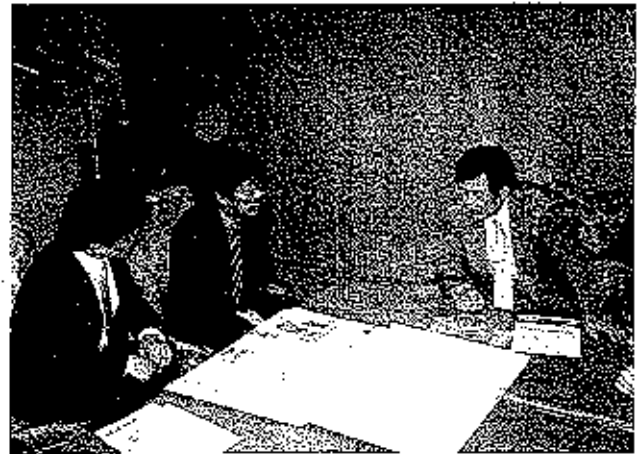
発行者：ふくい県民センター（ROBAの会）  
 協力：福井県バス協会  
 印刷：印刷局

## 4月7日、のりのりMAPを福井県県民生活部長に提供

ROBAの会が1年がかりで作成しました「のりのりMAP」を4月7日広部県民生活部長に手渡しました。

すでに、福井県、福井市に各々1000冊納入していますが、正式な発刊の公表にあわせてこのような場を設定いたしました。

なお、同日プレス発表も行い、県内の書店、ターミナル等での発売がスタートいたしました。(文・内田)



### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「交通権 第20号」 2003年3月27日  
交通権学会 (価格表示なし)

交通による国民福祉の向上を論じる場合、福祉とは何かを的確につかまなければ交通計画の中身も間違ったものになる。経済学的価値の最大化を目的に交通計画を行うと、多くの地方都市では公共交通衰退シナリオ以外出てこない。そこに新しい光をあててくれるノーベル賞学者のアマティア・センの「潜在能力アプローチ」が重森暁先生の巻頭言で紹介されている。

この考えは、ある意味では社会主義と資本主義を統合するともいえるアプローチである。という難しい話をしなくても、ヨーロッパの都市交通政策はそうした考えを基底に行われているのではないかと思えてくる。かつて自由は経済発展の手段だった。本来経済は自由のための手段でなければならない。

今回の交通権は、その他にも交通基本法案について、交通バリアフリー法、路面電車の速度向上策などおもしろい論文が収められている。

学会への入会は、

〒640-8131 和歌山市弁財天丁1 岡本浩法律事務所内 tel 0734-36-5517 交通権学会

「ジャパニーズ 電車 ガール」写真展 開催 ~福井鉄道・福武線/京福電鉄・永平寺線~

日時 5月7日(水)~16日(金) <土日休み> 場所 武生郵便局(武生市中央1-10-30)

●「ふくいのにりのりマップ」も展示します

(文・林 照翁)

「おぼえつつしきつ」は福井鉄道で行こう!

西若江駅・西山公園駅までどこから乗っても(懐か) <つつしきつ> 大人200円/小学6年生以下100円

5月3・4・5日 午前9時~午後5時(両駅を発着する電車が対象)

## トップニュース：第3回定例総会、中部運輸局を招いての記念講演実施！！

去る4月19日土曜日、県民活動センター研修室において、第3回ROBAの会定例総会が開催され、記念講演「レールと繋ぐバス交通」～地方におけるバス交通の実態と活性化への対策～が、国土交通省中部運輸局企画振興部交通・観光計画調整官松本正明氏を講師として公開で行われ、会員をはじめとする大勢の参加者が熱心に聞き入った。当日は松本氏をはじめ、中部運輸局、同局福井運輸支局から6名の方が参加され、講演の後の質疑応答、その後の赤茄子亭での「ふくいのにりのりマップ」発刊記念パーティーでは、中部運輸局の方々との交通・まちづくりをめぐる熱い議論に会場が沸いた。

なお後日、中部運輸局から、国のこれからの地方鉄道政策の方針を示す「地方鉄道復活のためのシナリオ—鉄道事業者の自助努力と国・地方の適切な関与—」（財団法人 運輸政策研究機構編）が送られてきており、国の地方鉄道に対する方針の明らかな転換を示す文章が綴られていて、ROBAの活動がちょっとづつ報われていることが感じられ、また一連の出来事からは、国の交通・まちづくりNPOに対する意識の大きな変化も感じられた。今後、えちぜん鉄道の運行再開、福井鉄道の活性化提案を控え、ROBAの会は益々国や県や市町村との協力・連携を強めていくことが必要だろう。時代は確実に変わりつつあるようだ。（文：清水）



### 活動報告

- 4月1日 ふくいのにりのりマップ発刊
- 4月3日 まちづくり懇談会 第七回
- 4月7日 のりのりマップ贈呈式（県）・記者発表
- 4月15日 4月作業部会
- 4月19日 第3回総会・記念講演会
- 5月7日 まちづくり懇談会 第八回  
(inフニアモール)
- 5月13日 5月作業部会
- 5月15日 県立大学特別講義聴講
- 5月16日 県立大学特別講義聴講
- 5月16日 えちぜん鉄道見奈良支所面談打合せ
- 5月20日 分科会活動についての会議
- 5月23日 5月例会

### 今後の予定

- 5月下旬 えちぜん鉄道との懇談会
- 5月25日(日) 協働のまちづくりフォーラム  
(主催：福井市)
- 5月30日(金) 平成15年度地域環境研究所  
研究助成金授与式
- 5月31日(土) 川崎和男氏講演 (ROBA 協賛)
- 6月4日(水) まちづくり懇談会 第九回
- 6月6日(金) 福井大学特別講義 (予定)
- 6月14・15日 名鉄岐阜線その他視察 (予定)  
(土・日)
- 6月15日(日) 全国路面電車ネットワーク設立総会
- 6月17日(火) 6月作業部会
- 6月27日(金) 6月例会
- 6月中 福井鉄道福武線活性化検討協議会



## 活動報告

- 5 月 25 日 協働のまちづくりフォーラム  
(主催：福井市)
- 5 月 27 日 幹事会
- 5 月 29 日 LRV 導入検討会議
- 5 月 30 日 平成 15 年度地域環境研究所  
研究助成金授与式
- 5 月 31 日 川崎和男氏講演 (ROBA 協賛)
- 6 月 4 日 まちづくり懇談会 第九回
- 6 月 7 日 えちぜん鉄道との懇談会
- 6 月 15 日 知事意見募集への意見提出
- 6 月 15 日 全国路面電車ネットワーク設立総会
- 6 月 17 日 6 月作業部会
- 6 月 20 日 えちぜん鉄道株主総会
- 6 月 21 日 アースデイふくい 2003
- 6 月 25 日 福井鉄道福武線活性化検討協議会
- 6 月 27 日 6 月例会・ROBA 勉強会

## 今後の予定

- 6 月 28 日 (土) 夏の ROBA ツアー 2003
- 7 月初旬 各分科会活動開始
- 7 月 9 日 (水) まちづくり懇談会 第十回
- 7 月 15 日 (火) 7 月作業部会
- 7 月 19 日 (土) えちぜん鉄道運行再開イベント
- 7 月 20 日 (日) えちぜん鉄道部分運行再開  
[福井—永平寺口・西長田]
- 7 月 25 日 (金) 7 月例会

## 会員の広場

谷口 由美子 (たにぐち ゆみこ)



照手に住んでいます。車がないので自転車でごんばって、移動しています。雨や雪、風のきつい日はめげてます。車に乗らなくなって気付いた不便な公共交通機関の存在。もっと利用しやすくなればと思っています。福井は、文化施設が散らばっている

ため、色々な施設をつなげてほしいな。子どもたちが、独りでも利用できるように。子どもや御年寄りが、住みやすい福井になればいいな、と思っています。

堤端 充 (つつまばた みつる) ☆1951



今年入会しましたニューフェイスです。昨年、「ふくい環境の翼」でスイスのチューリッヒの路面電車に乗りました。電車は古く小さいのですが、その便利さと安さ、表示の分かりやすさに驚くと共に、福井にも

こんな公共交通機関が出来たら、車の使用も減せるのではないかと思います。また、運転マナーのよさも特筆すべきことです。車そのものが少なかったのですが、信号の無い横断歩道を渡ろうと立ち止まっていたら、車が3mも4mも手前で止まってくれます。さすが、世界で1、2位を争う「住みたい都市」という一端を実感することが出来ました。福井も「住みやすさ日本一」という名に恥じないまちに早くなってほしいと思います。

祝 えちぜん鉄道開通記念  
「ジャパニース 電車 ガール」写真展  
福井鉄道・福武線/京福電鉄・永平寺線

日時 7月18日(金)～7月31日(木)  
会場 福井郵便局 展示コーナー

## トップニュース えちぜん鉄道部分運行開始/開業イベントに参加

平成15年7月20日。この日、えちぜん鉄道の勝山永平寺線（旧越前本線）福井—永平寺口（旧東古市）間、及び三国芦原線 福井口—西長田間が運行を開始、京福電鉄の運行停止より実に2年1ヶ月ぶりに、沿線の方々の悲願だった電車の営業運転再開が実現しました。

20日の運行開始に先立つ19日、えちぜん鉄道では各会場において開業イベントを実施。150円で電車乗り放題という企画もあり、多くの電車が超満員になるなどイベントは大いに盛り上がりました。

ROBAの会はえちぜん鉄道からの依頼でえちぜん鉄道の電車の模型を出展、会場に出現した小さな



米沢電鉄も運行開始!

“まち”を走るえちぜん鉄道の電車に子供たちは大喜び。こちら大いに賑わいました。「将来、この子達が鉄道を支える輪に加わってくれるにちがいない。」そんな期待を抱かせる、実にいい光景でした。なお、模型の制作から当日の運転まで、米沢会員が大活躍してくださいました。当日イベントのお手伝いに参加したROBA会員は13名、急遽、ブースをいただいて会場で販売した「のりのりマップ」は55部売れ、イベント来場者のマップへの関心の高さをうかがわせました。  
(文・清水)

### 活動報告

- 6月28日 夏のROBAツアー2003
- 7月8日 NPO分科会
- 7月9日 まちづくり懇談会 第十回
- 7月11日 電車分科会
- 7月15日 7月作業部会
- 7月19日 えちぜん鉄道運行再開イベント
- 7月19日 シンポジウム企画委員会
- 7月20日 えちぜん鉄道部分運行再開  
【福井—永平寺口・西長田】
- 7月22日 市民活動セミナー準備会議
- 7月23日 電車分科会
- 7月24日 まちづくり懇談会 第十一回
- 7月25日 7月例会

### 今後の予定

- 7月26日(土) シンポジウム企画委員会
- 7月29日(火) バス分科会
- 8月5日(火) NPO分科会
- 8月10日(日) えちぜん鉄道  
三国芦原線運行開始
- 8月12日(火) 8月作業部会(各分科会・連絡会)
- 8月22日(金) 8月例会
- 8月 随時 電車分科会他 各分科会
- 8月 随時 シンポジウム企画委員会
- 8月 随時 市民活動セミナー準備会議

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「環境危機をあきらめてはいけない!」地球環境のホントの姿

ビョルン・ロンボルグ著、山形浩生訳

文芸春秋 4500円+税

レスターRブラウンの地球白書は版を重ね、森林の減少、地球温暖化など、これでもかこれでもかと地球環境の破壊を紹介している。この本はそれや、他の地球環境本のデータ引用の不正確さを指摘し、地球環境の正確なデータを提供することに力を注いでいる。少なくとも枯渇性資源の問題は市場原理が解決する。

しかし、地球温暖化問題だけはこの本も問題ではないとは言っていない。この本を読んで、もう一度地球環境問題の現状と、地球環境問題とは何かを問い直すことは、重要である。稲田敦氏の割り箸、牛乳パック論争のように、本質に迫る議論が呼び起こされることを期待する。  
(文・美濃部)

## トップニュース：福井駅前商店街が駅前電車通りの整備受け入れへ

このたび、懸案だった福井駅前電車通りの整備事業を福井駅前商店街が受け入れ、10月中旬の着工を目指すことになりました。

この事業は福井市が進める「賑わいの道づくり事業」。もともとトランジットモールとしての整備も想定していたのですが、車社会とあって商店街の賛成が得られず、市が何度も修正案を提示してきた結果、軌道を単線としたうえで、車道や荷さばきスペースを極力ひろげる案に修正すること等で福井駅前商店街振興組合が受け入れることとなりました。

この事業はそもそもROBAの会が誕生するきっかけにもなった事業で、当初からROBAの会のメンバーもいろいろな形で関わってきましたが、ようやく着工に向けて歩み始めることになりました。駅前商店街が導入を求め、ROBAの会が想い描いたLRVについては、「研究」という言葉に落ち着いたようで、ROBAの会としてもこの部分については、駅前商店街とともに根気強くはたらきかけていくことになりそうです。

いずれにしても、今よりもはるかに多くの来街者が訪れる活気ある“まち”に生まれ変わることを期待したいですね。

(文：清水)

### 活動報告

- 7月26日 シンポジウム企画委員会
- 7月28日 電車分科会(都市再生モデル調査提案)
- 7月29日 バス分科会
- 8月4日 電車分科会(都市再生モデル調査提案)
- 8月5日 NPO分科会
- 8月7日 市民活動セミナー「コラボしよう! 2003」準備会議
- 8月10日 えちぜん鉄道西長田-三国港間運行開始
- 8月19日 シンポジウム企画委員会
- 8月19日 市民活動セミナー「コラボしよう! 2003」準備会議
- 8月22日 8月例会・懇親会

### 今後の予定

- 8月23日(土) ROBA勉強会「まちづくり調整委員会報告」
- 8月27日(水) 県都市計画説明会(福井)
- 8月29日(金) 高岡・「戸出キャラバン」の見学会
- 9月10日(水) まちづくり懇談会第十二回
- 9月12日(金) 県都市計画(福井・嶺北北部)公聴会
- 9月16日(火) 9月作業部会(各分科会・連絡会)
- 9月26日(金) 9月例会
- 9月27日(水) 県都市計画説明会(福井)
- 9月 随時 電車分科会
- 9月 随時 バス分科会
- 9月 随時 NPO分科会
- 9月 随時 シンポジウム企画委員会
- 9月 随時 市民活動セミナー準備会議
- 9月 随時 ROBAシンボ乗り継ぎ隊実施

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

#### 「都市鉄道の次善料金形成」

副題 自動車交通との競合下での理論

著者 鈴木崇児 出版社 勁草書房 3500円

メールアドレスを「都市経済研究所」としている人にはぜひお読み頂きたい。数式一杯の理論書である。私も、数式は十分理解できないので、読み飛ばしたが、それでも数式部分は専門家に任せて、自分の考えを整理するには十分読み応えのある本であった。鉄道事業の採算性は本当に採る必要があるのか、補助金はいかに正当化されるのか。そうした議論が煮詰まってきたら、ぜひ読むべき本である。理論書でありながら、著者の公共交通を大事にしたい思いが感じられる好著である。

私がいろいろ言ってきた鉄道プロジェクトの費用便益分析も、この本の中の関数を線形と仮定したり、定数と仮定したりして、簡便な実用分析が行われているのであるが、そうした入手可能なデータを用いた分析が、この本の理論の応用として正当化するような研究が待たれるところである。ぜひ鈴木先生には、えちぜん鉄道の最適運賃を計算していただきたいものである。

(文・美濃部)

## トップニュース：えちぜん鉄道福井駅乗り入れ方式 議論紛糾！！

えちぜん鉄道の福井駅乗り入れ方法については現在盛んに議論されているところですが、ずいぶん紛糾しているようです。一般的には県側と市側の見解の相違という構図で語られることが多いようですが、論点が違うところにあり、また地元住民の方々の間でも両方の意見があり、一筋縄ではいかない様相になっているようです。

しかし、これは福井の100年の計ともいえる事業。福井市のまちづくりにおいて鉄道がどのような機能を持ち、どのような形態で存在するのが最良なのか、感情論ではなく、LRTという鉄道の新しい概念も議論に反映させて、あとあと悔いを残すことの無いよう、十分に議論を尽して欲しいと思います。

(文：清水)

### 活動報告

- 8月23日 ROBA 勉強会 まちづくり調整委員会報告
- 8月27日 県都市計画説明会 (福井)
- 8月29日 高岡・「戸出キャラバン」の見学会
- 8月30日 シンポジウム企画委員会
- 9月4日 電車分科会
- 9月5日 「コラボしよう! 2003」準備会議
- 9月9日 風流塾共同「秋色街めぐり」準備会議
- 9月10日 まちづくり懇談会第十二回
- 9月12日 県都市計画 (福井・嶺北北部) 公聴会
- 9月12日 「コラボしよう! 2003」準備会議
- 9月16日 9月作業部会 (各分科会・連絡会)
- 9月18日 風流塾共同「秋色街めぐり」準備会議
- 9月19日 「コラボしよう! 2003」準備会議
- 9月20日 電車分科会
- 9月23日 風流塾共同「秋色街めぐり」準備会議
- 9月24日 風流塾共同「秋色街めぐり」準備会議
- 9月26日 9月例会

### 今後の予定

- 9月27日 (土) 県都市計画説明会 (福井)
- 9月27日 (土) 丹南市民自治研究センター事業「電車でGO」フォーラム
- 10月4日 (土) 風流塾共同「秋色街めぐり」
- 10月4日 (土) イベント輸送調査
- 10月5日 (日) 風流塾共同「秋色街めぐり」
- 10月5日 (日) イベント輸送調査
- 10月8日 (水) まちづくり懇談会第十三回
- 10月11日 (土) 風流塾共同「秋色街めぐり」
- 10月11日 (土) 「コラボしよう! 2003」
- 10月12日 (日) 風流塾共同「秋色街めぐり」
- 10月12日 (日) 「コラボしよう! 2003」
- 10月 随時 のりつぎ調査隊実施
- 10月14日 (火) 10月作業部会
- 10月 随時 シンポジウム作業部会
- 10月 随時 各分科会
- 10月24日 (金) 10月例会
- 10月26日 (日) のりつぎ調査隊ワークショップ

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

#### 「明日の都市交通政策」

杉山雅洋 国久荘太郎 浅野光行 荻瀬博仁 編著  
成文堂 2500円+税 ISBN4-7923-4183-3

宅地、建物、交通機関ともに、絶対的に量が不足していて、インフラ整備をすれば全体の福祉が向上する時代は過ぎ、少数派である弱者のノーマライゼーション、環境負荷の削減等がインフラ整備の主要目標となってきている。本書は、こうした時代の変化の中で「明日の都市交通政策」のあるべき姿を複数の著者により模索している所である。

しかし、前編を統一する主張、具体的な例示が乏しいため、専門家の考えるヒントとしては役にたつかもしいないが、一般の読者には少し消化不良の感が否めないであろう。様々な交通に関する理論の解説が網羅してあるが、データなどが乏しいため、交通施策充実を訴えるアジペーパーとしては、上岡直見さんの著書の足下にも及ばないのである。

(文・美濃部)



## トップニュース：北陸3日間連続シンポジウム開催！！

えちぜん鉄道が全線運行再開を果たしました。大変喜ぶべきことですが、これは福井にとっていわば一里塚。鉄道・バスなどの公共交通をどう再構築していくか、そしてそれを活かして持続可能なまちづくりをどう展開していけるかが、実は福井の中長期の課題であり、今、そのための最初の判断を求められているのが現状です。

そんな中、11月22日から24日までの3日間、“北陸3日間連続シンポジウム”の開催が企画されました。11月22日は中部地区路面電車サミット at 万葉線『人がまん中まちづくり』が高岡市の国立高岡短期大学にて、23日は『鉄道まちづくりシンポジウム：地方鉄道そこが聞きたい！これが言いたい！』が勝山市市民ホールにて、そして24日にはわれらがROBAの会のまちづくり進歩ジウム『つないで生きる電車・バス～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～』が福井市のフェニクスプラザ小ホールにて開催となりますが、既に全国的に注目を集めはじめているようで、今から開催が楽しみです。一角を占めるROBAの会のまちづくり進歩ジウム、是非成功させるとともに、福井での問題への取り組みのヒントにしたいものですね。

(文：清水)

### 活動報告

- 9月27日 県都市計画説明会(福井)
- 9月27日 丹南市民自治研究センター事業「電車でGO」フォーラム
- 9月29日 秋色のまちめぐり・風流塾との打合せ
- 10月4日・5日 風流塾共同「秋色のまちめぐり」
- 10月4日 イベント輸送調査
- 10月8日 まちづくり懇談会第十三回
- 10月11日・12日 風流塾共同「秋色のまちめぐり」
- 10月11日・12日 「コラボしよう!2003」
- 10月13日 アルナ遠山氏を招いてのLRV勉強会
- 10月14日 10月作業部会・シンポジウム作業部会
- 10月16日 全国都市再生調査・県打合せ
- 10月 随時 のりつぎ調査隊実施
- 10月24日(金) 10月例会

### 今後の予定

- 10月25日(土) のりつぎ調査隊ワークショップ
- 11月1日(土) ワークショップまとめ作業部会
- 11月1日(土) ROBA勉強会(川上先生)
- 11月 随時 シンポジウム作業部会
- 11月18日(火) 11月作業部会・シンポジウム準備
- 11月22日(土) 中部地区路面電車サミット参加
- 11月23日(日) 鉄道まちづくりシンポジウム参加
- 11月24日(月) まちづくり進歩ジウム『つないで生きる電車・バス』～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～開催
- 11月28日(金) 11月例会
- 11月 随時 全国都市再生調査打合せ

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

#### 21世紀の都市を考える

#### 社会的共通資本としての都市-2

著者 宇沢弘文・國則守生・内山勝久 編  
東京大学出版会 3600円+税

都市は何のためにあるのか、都市計画とは何のためにするのか。そうした根本まで立ち返り、日本の都市計画を批判的に見たのがこの書である。上記の編者以外の著者として、伊藤滋、原科幸彦等都市計画の重鎮も含まれているが、過度に自動車に依存した都市形態を批判する考えは我々と共通である。

この本は路面電車推進を目的に書かれた本ではない。しかし、路面電車推進運動を行う者に対して、ちょっとした路面電車啓蒙書よりはるかに力を与えてくれる良書である。縦割りの役人が自らに責任が降りかからないことだけを考えてたらどうなるか。都市は曖昧な空間や深みをなくしてしまう。行政マンである反省を込めて読むことができた。

(文・美濃部)

## トップニュース：ROBA提案の全国都市再生モデル調査が採択！！

内閣官房都市再生本部が募集していた「全国都市再生モデル調査」に、ROBAが応募していた「えちぜん鉄道を核とした公共交通の活性化によるまちづくり調査」が9月22日に採択されました。公共交通をテーマとした、RACDA、金沢市、富山市などととも、644件の応募のうちから選定された提案171件に入ることができました。

その内容は、まず、まちづくりNPOなどの協力を得て、マップDEのりつぎ調査隊により、公共交通の乗り継ぎの実態を調査する。生活交通ビジョンの実現に向けて、理解しやすく判断しやすい交通施策イメージを作成し、利用者の立場から公共交通政策の提案を行う。さらに、提案をもとにパネルセッションや地域キャラバン等により、まちづくりグループなどとの意見交換を行い、将来像をまとめる。これによって、県市の住民の理解促進、合意形成が進められ、まちづくりにあわせて地域公共交通が効率的に再構成され、都市再生が進められると考えています。

これまで以上に市民活動への期待は高まっています。皆さん、がんばって、かつ楽しみながら調査していきましょう。詳細は順次お知らせしますが、11月24日のこのシンポジウムもその一環としてやっていますので、皆さんまずはシンポジウムの参加から。  
(文/林 博)

### 活動報告

- 10月25日 のりつぎ調査隊ワークショップ
- 10月25日 秋色の街めぐりまとめ(風流塾共同)
- 11月1日 ワークショップまとめ作業部会
- 11月1日 ROBA勉強会(川上先生)
- 11月4・7・10・11・17・18・23日  
シンポジウム作業部会
- 11月13日 第14回まちづくり懇談会
- 11月18日 11月作業部会
- 11月22日 中部地区路面電車サミット(高岡)参加
- 11月23日 勝山・鉄道まちづくりシンポジウム参加
- 11月23日 ROBA 進歩ジウム前夜祭レセプション
- 11月24日 まちづくり進歩ジウム『つないで生きる  
電車・バス』～「のりのりマップ」から見えてくる  
福井の公共交通とまちづくり～開催

### 今後の予定

- 11月28日(金) 11月例会
- 12月4日(木) 第15回まちづくり懇談会
- 12月16日(火) 12月作業部会
- 12月26日(金) 12月例会
- 12月 随時 全国都市再生モデル調査打合せ

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

路面電車ルネッサンス

宇都宮浄人 著

新潮新書(新潮社) 680円+税

これまでいろいろな書評を書いてきた。世界の路面電車の動向、経済性、街づくり、信用乗車そうしたいろいろな問題をこのコンパクトで安価な本に集約したのは画期的と言えよう。

著者は日銀職員であり、経済には詳しいと思われるが、広い範囲にわたって路面電車のことを調べており、かつこの種の本の中では非常に理解しやすい。出張の飛行機の1時間で一気に読むことができた。

(文・美濃部)

## トップニュース：北陸初の L R V が万葉線に登場！



去る12月12日に富山県の高岡市・新湊市を走る万葉線に新型 L R V が入線、14日には日中に米島車庫と高岡駅前の間を試運転、大勢の人が沿線でカメラを構えるなど、市民の L R V への関心の高さを示しました。

この L R V、新潟トランス製で岡山の MOMO の姉妹車。北陸初の L R V で、4 年間で L R V が 6 編成が導入される予定ですが、その時点で日中の全てが L R V による運行になり、万葉線は実質的に L R T になります。

今後の北陸新幹線の新高岡駅建設にからみ、万葉線車両の城端線への乗り入れも、高岡市長や万葉線株の社長が当たり前と言うかのごとくに触れており、今後の万葉線を核とした公共交通の再編・L R T 化推進の取り組みが気になるところです。富山県ではさらに富山港線の取り組みも続いており、日本にも、それも北陸で、L R T というものが現実に出現しようとしています。

一方で福井も L R T のシステム導入の適地として全国から注目を集めている場所。この地の議論が、あるべき交通やまちづくりの姿を追求するという構図ではないだけに、高岡や富山と比べて L R V ・ L R T の導入は難しいには違いありませんが、やはりこの絶好のロケーションを活かしていきたいものですね。 (文・清水)

### 活動報告

- 11月28日 11月例会
- 12月4日 第15回まちづくり懇談会
- 12月12日 都市再生モデル部会
- 12月16日 12月作業部会・都市再生モデル部会
- 12月17日 都市再生モデル部会
- 12月26日 12月例会・都市再生モデル部会
- 12月26日 ROBA忘年会

### 今後の予定

- 平成16年
- 1月6日(火) 都市再生モデル部会
- 1月8日(木) 第16回まちづくり懇談会
- 1月13日(火) 1月作業部会・都市再生モデル部会
- 1月15日(木) 都市再生モデルアドバイザー会議
- 1月20日(火) 都市再生モデル部会
- 1月23日(金) 1月例会・都市再生モデル部会
- 1月27日(火) 都市再生モデル部会





## トップニュース：L R T の新たな動き = 進む意識変革

このところ、国内でL R Tに関する顕著な動きがいくつも報告されるようになってきました。そのいくつかをご紹介しますと・・・

まず富山市のJ R 富山港線のニュースに関連。森富山市長が欧州のL R Tを視察するそうです。平成18年度の富山港線L R T化開業がメニューにのぼっており、市に推進室をつくり、6月議会では導入車両の概要を決めるそうですが、それに先立ち、5月に「市長自ら」参加してドイツ・フランスに車両や交通体系のあり方についての視察を行うとのこと。これは結構画期的なことで、このところ公共交通とまちづくりを掲げていくつもの市民団体が設立されている状況も含め、「何か」が行政や市民の意識を変えつつある様子を伝えているものと思います。富山港線L R T化にはJ Rも現物出資で参加する可能性を示唆しており、このプロジェクトの今後が注目されます。

次に、熊本市と熊本電鉄の話題。まず熊本電鉄が改軌・延長して車両を全てL R Vに切り替え、熊本市電の路線に熊本駅まで乗り入れるそうです。熊本電鉄もやはり地方鉄道としての問題を抱えていたのですが、廃止ではなく、L R Tとして再生・活用することを「地域」が選択したようです。熊本電鉄は中心市街地の北端の藤崎宮にターミナルを抱えていますが、市電の電停までは距離があり、現在、乗客は歩いて中心部にアクセスしています。それが改軌・延長でレールがつながり、中心市街地の各電停まで直接行けるようになります。

そしてほぼ同時期に報道されたのが熊本市電の延伸です。市電の東の末端部の近くに市の動植物園が有るのですが、そこにサイドリザベーションで延伸して市所有の駐車場でパークアンドライドを実施するというものです。

熊本市は日本で最初にL R Vを導入した都市。その他にも熊本市電には「日本初」というのがいくつもあり、それらは行政・市民がともに高い意識を持って積極的に勉強している結果のようです。また、そうしてL R Vを導入したことで行政も事業者も市民もさらに意識変革が進んでいるようで、このところの新規計画の発表はその結果のようです。昨年には熊本市内の4バス事業者間の路線再編を含む需給調整をも発表しています。

この、一定の地域において「何か」が行政・事業者・市民の意識変革を進めて行く様子は目を見張るものがあります。この「何か」を福井でも一つ、都市再生モデル提案を機に打ち出して行きたいものです。（文：清水）

### 活動報告

- 1月 6日 都市再生モデル部会
- 1月 8日 第16回まちづくり懇談会
- 1月13日 1月作業部会・都市再生モデル部会
- 1月14日 都市再生モデル部会（臨時）
- 1月15日 都市再生モデルアドバイザー会議
- 1月20日 都市再生モデル部会
- 1月23日 1月例会・都市再生モデル部会

### 今後の予定

- 1月25日（日）北陸交通まちづくりN P O交流会  
& L R V試乗会（in 高岡新湊）
- 1月27日（火）都市再生モデル部会
- 1月29日（木）新人福井市議との勉強会・懇談会
- 2月 3日（火）都市再生モデル部会
- 2月 4日（水）勝山市電車利用促進会議との  
意見交換会
- 2月 5日（金）第17回まちづくり懇談会
- 2月10日（火）都市再生モデル部会
- 2月17日（火）2月作業部会・都市再生モデル部会
- 2月24日（火）都市再生モデル部会
- 2月27日（金）2月例会・都市再生モデル部会
- 2月 ?日（?）松岡町まちづくりグループとの  
意見交換会
- 2月 ?日（?）美山町まちづくりグループとの  
意見交換会

## トップニュース：各地市民団体との意見交換会始まる！

去る2月4日、勝山市民会館にて勝山市電車利用促進会議の方々と意見交換会を行いました。これがえち鉄サポート団体との初めての意見交換会。始めはなかなかスムーズな議論とはならなかったものの、後半、ROBA側から配った資料が媒体となって議論が活発化、短すぎる時間に歯がゆさを感じる意見交換会となりました。続いて2月7日に美山町のみやま未来塾の皆さんと、2月15日には松岡町の皆さんとの間で意見交換会を実施、都市再生モデル提案の活動がいよいよ佳境に入ってきました。今後、各団体とは2回目、3回目と回を重ねて議論を続けていきたいと考えています。また、この3地域だけではなく、今後各地に出かけて『ROBAコラボ』をどんどん開催していく予定です。

(文：清水)

### 活動報告

- 1月27日 都市再生モデル部会
- 1月29日 新人福井市議との勉強会・懇談会
- 2月3日 都市再生モデル部会
- 2月4日 勝山市電車利用促進会議との意見交換会
- 2月5日 第17回まちづくり懇談会
- 2月7日 美山町まちづくりグループとの意見交換会
- 2月10日 都市再生モデル部会
- 2月15日 松岡町まちづくりグループとの意見交換会
- 2月17日 2月作業部会・都市再生モデル部会
- 2月24日 都市再生モデル部会
- 2月27日 2月例会・都市再生モデル部会

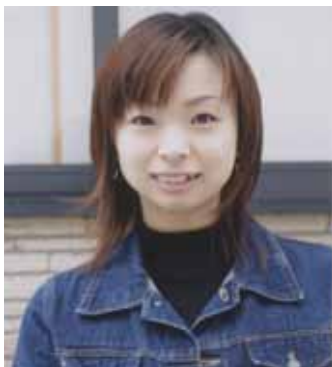
### 今後の予定

- 3月2日(火) 都市再生モデル部会
- 3月4日(木) 第18回まちづくり懇談会
- 3月6日(土) ROBAワークショップ in 美山みらくる亭
- 3月9日(火) 都市再生モデル部会
- 3月13日(土) 住みたくなるまちづくりワークショップ参加
- 3月16日(火) 2月作業部会・都市再生モデル部会
- 3月22日(月) 都市再生第2回アドバイザー会議
- 3月23日(火) 都市再生モデル部会
- 3月26日(金) 2月例会・都市再生モデル部会
- 3月27日(土) あじさいロータリー倶楽部談話会
- 3月30日(火) 都市再生モデル部会

(内田)

### 会員の広場

門田 恵実(もんだ めぐみ 1982)



はじめまして。福井県立大学に通っています、門田恵実です。現在、学業の傍ら就職活動をし、まちなかNPOや@(学生イベントサークル)に在籍しております。私は特別電車で詳しいというわけではありませんが...福井の路面電車は大好きです！

今はいろいろな新しいことをして、見聞を広めたいと思っています。なにかあったら教えていただけると嬉しいです。また、学生ならではのお力を貸すこともできると思います。ぜひ見かけたら一声かけてください(\*^\_^\*)





## トップニュース:「ばすでんしゃねっとふくい」発進!

福井県が福井県バス協会に委託して、県内のすべての公共交通時刻表を網羅したホームページを作成、このたびアップしました。正式には4月1日からの運用となります。施設アクセス情報も入り、全国的に見ても豪華版の部類に入るホームページになったと思います。その名も「ばすでんしゃねっとふくい」。作成にはROBAの会も協力しました。「ふくいのりのりマップ」に続き、またひとつ福井に公共交通利用促進の情報提供が始まります。皆様、是非ご利用ください。(文:清水)

福井県バス協会ホームページ「ばすでんしゃねっとふくい」

<http://www3.ocn.ne.jp/~fba/>

### 活動報告

- 3月 2日 都市再生モデル部会
- 3月 4日 第18回まちづくり懇談会
- 3月 6日 ROBA ワークショップ  
in 美山みらくる亭
- 3月 9日 都市再生モデル部会
- 3月12日 都市再生モデル調査報告書仮納品
- 3月13日 住みたくなるまちづくり  
ワークショップ参加
- 3月16日 3月作業部会・都市再生モデル部会
- 3月22日 都市再生第2回アドバイザー会議
- 3月26日 3月例会・都市再生モデル部会

### 今後の予定

- 3月27日(土) 丹南自治研究会との意見交換会
- 3月28日(日) NPO ボランティアフォーラム参加
- 3月30日(火) 都市再生モデル部会
- 4月 6日(火) 都市再生モデル部会
- 4月 8日(木) 第19回まちづくり懇談会
- 4月13日(火) 4月作業部会・都市再生モデル部会
- 4月18日(日) 北陸3県交通まちづくりNPO  
交流会 in 高岡
- 4月20日(火) 都市再生モデル部会
- 4月23日(金) 4月例会・都市再生モデル部会
- 4月27日(火) 都市再生モデル部会
- 4月30日(金) 都市再生モデル調査報告書納品  
総会の予定・5月16日(日)  
本田 豊氏 講演予定/詳細は次号で

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

都市をつくった巨匠たち - シティプランナーの横顔 -  
監修 新谷洋二/越澤明 編集 都市みらい推進機構  
出版 ぎょうせい 定価 3,333円+税  
ISBN4-324-07095-4

都市計画が専門の私でも、都市計画家と建築家のどちらを多く知っているかと問われれば、建築家と答えざるを得ないほど、個人の業績として語られる都市計画は少ない。また、道路、公園、下水道等の配置や建物の制限をいくら完璧に設計したところで、そこに住む人、経済情勢等に合っていなければいい町はできない。

この本にでてくる内外の都市計画家は、デザイナーではなく、その時代の思想家であったり法律家であったり、平易な言葉で言うと経営センスのある人であろう。それは今の都市でも同じであるが、各時代に活躍した都市計画家たちが、その時代の要請にどう応えたか、今一度問い直して、今の時代をみつめ直してみよう。

この本は、それを通じた歴史法則や空間設計のあり方の教科書ではない。そのため、少し退屈であるが、過去の事例から自らの都市計画論を構築する意欲のある人にはおすすめである。

(文・美濃部)

## トップニュース：北陸の仲間が一堂に！ 交流会開催

去る4月18日、富山県高岡市の高岡ステーションビル3階ホールにおいて、北陸の交通とまちづくりの活動を行っている市民団体が一堂に会する初の交流会が開催されました。これは以前より「明日の金沢の交通を考える市民会議」の皆さんから呼びかけがあり、今回、「路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA高岡)」の総会、兼、記念誌(万葉線とRACDA高岡5年間の軌跡)発刊パーティーに併せて開催されたものです。

当日は前述の2団体と「ROBAの会」の他、「岐阜未来研究団」、「とやま公共交通しみん応援団」、「金沢・LRTと暮らしを考える会」、「のとエア・レール21」、「太田川流域鉄道再生協会(太田川鉄道株式会社)」、「富山県交通政策研究グループ」が参加。ゲストとして、岡山の「路面電車と都市の未来を考える会(RACDA)」の岡将男会長も姿を見せ、記念誌の発刊を祝うとともに、初めて北陸3県の交通・まちづくりNPOが一堂に会し、今後の交流を確認しあう場となりました。交流会に先立って行われた京都大学大学院助教授の中川大先生の講演では、万葉線が存続を決めるに至った「決め手」となった事柄、今後の提案で注意すべき点等について触れられ、現に鉄道の存廃問題に直面している団体等、参加者が皆真剣に聞き入り、メモをとっていました。北陸地方では今後3県にまたがる新幹線の並行在来線問題が出てくるだけに、案外、今回の交流会が後に重要な意味を持つことになるかも知れません。とにかく有意義な交流会となりました。



### 活動報告

- 3月28日 NPO ボランティアフォーラム参加
- 3月30日 都市再生モデル部会
- 4月6日 都市再生モデル部会
- 4月8日 第19回まちづくり懇談会
- 4月13日 4月作業部会・都市再生モデル部会
- 4月18日 北陸3県交通まちづくりNPO  
交流会 in 高岡
- 4月21日 幹事会
- 4月23日 4月例会・都市再生モデル部会
- 4月27日 都市再生モデル部会

### 今後の予定

- 5月10日(月) 都市再生モデル調査報告書納品
- 5月13日(木) 第20回まちづくり懇談会
- 5月14日(金) 福井県立大学ROBAの会講義
- 5月16日(日) ROBAの会3周年記念講演  
講師：本田豊氏  
ROBAの会第4回定例総会
- 5月18日(火) 5月作業部会
- 5月28日(金) 5月例会



## トップニュース：がんばれ岐阜！路面電車ネットワーク総会を岐阜で開催

存続か廃止か 6月中にその存否が決定されることになっている岐阜の名鉄岐阜市内線・揖斐線・美濃町線。去る5月12日、全国路面電車ネットワークの岡将男会長が岐阜市長を訪問され、対談の結果、市長は存続に前向きであるとの印象をうけたそうです。しかし、資産の譲受譲渡や、経営主体の問題など課題が多いため、これからの1ヶ月間の取組みが存否をきめると判断されています。

そんな中、来る5月22日、岐阜市において全国路面電車ネットワーク総会が開催されます。これは電車存続の取り組みの中で、決定的な役割を担うこととなります。当日、スケジュールの空いている方は是非岐阜に行って岐阜の皆さんの応援をしてあげてください。集合場所は、新岐阜駅電停向かい、スターバックス店前。集合時間は13:00です。それから、カンパの募集も始まっています。岐阜の路面電車を守るために、そして全国の地方鉄道を守る道筋をつけるために、是非、私たちも応援しましょう。(文：清水)

### 「路面電車のホントを訴える」カンパ：

加入者名 『未来をつくる路面電車』を訴える緊急ネットワーク

郵便振替口座 00820-1-59217

(加入者住所 岐阜市神田町6-22-3の3階)

## 活動報告

- 4月27日 都市再生モデル部会
- 5月8日 作業部会
- 5月11日 幹事会
- 5月13日 第20回まちづくり懇談会
- 5月15日 幹事会

## 今後の予定

- 5月16日(日) ROBAの会3周年記念講演 講師：本田豊氏  
ROBAの会第4回定例総会
- 5月20日(木) 全国都市再生モデル調査最終提出
- 5月22日(土) 全国路面電車ネットワーク総会 in 岐阜
- 5月28日(金) 地域環境研究所助成金受領式
- 5月29日(土) 福井市NPO推進議連主催 意見交換会
- 6月3日(木) 第21回まちづくり懇談会  
福井県立大学ROBAの会講義
- 6月8日(火) 6月運営会議
- 6月25日(金) 6月例会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

土木学会論文集 2004-4 NO.758 - 63 土木学会

土木学会論文集の中に、「米国のスマート型成長政策の動向：社会資本と地域開発の統合的視点から」（谷口守、Robert CERVERO）という論文がある。路面電車ファンの殆どは、コンパクトシティを好み、「歩いて暮らせるまちづくり」を志向するが、人口減少時代で、自動車保有者が多数派の国で実現可能かどうか。この論文は、その根本問題を考える理論的枠組みを提案しようとしている。

本来政治的な問題である、コンパクトシティをめざせるかどうかを理論で解き明かそうとする取り組みは挑戦的である。私自身は、自動車利用者に社会的費用を払わず経済的規制のみが最適な都市交通政策と考えているが、それが実現できないとき、セカンドベストの政策を行う必要があり、市民的議論の重要性を改めて認識させる論文であった。





## トップニュース：全国で存廃問題！ ROBAにも各地から協力要請

このところ、全国各地で鉄道の存廃問題が起きています。上田交通、日立電鉄、くりはら田園鉄道、北海道ちほく高原鉄道、のと鉄道、島原鉄道、果ては、名古屋鉄道、南海電鉄、京阪電鉄まで。京阪電鉄の場合、京都市と大阪市という大都市圏の隣り合う2つの府県庁所在地を結び、その市街地を走る大手私鉄の路線が対象だけに驚きます。京福電鉄が2度目の事故を起こして存廃問題がクローズアップされた時、ROBAの会は「京福電鉄の2度の重大事故が露呈したのは全国の地方の鉄道の問題」と指摘しましたが、事態はとうとうその段階を超えてしまいました。こんな時、まず意識を変えなければならないのは沿線住民で、行政だけに任せ切りには出来ないということはいろいろな事例を経て次第に認識されてきており、「鉄道を存続させるにはどのような活動が必要か」について、各地の鉄道沿線の住民団体等からROBAの会にも助言を求めてくる動きが顕著になってきています。当時、ROBAの会は表面に出ない活動も含め、いろいろな活動を経験しました。それが他の地域で活かされるのなら喜ばしいことです。さきの総会でも内田会長が、「京福電鉄の存廃問題の時はいろいろな方に助けてもらった。今度は、求められれば会としてできるだけ協力していきたい。」という話をされています。ROBAの会が一番伝えたいのは、「大切なのは存続してからの住民参加による乗るしくみづくり」というところ。ROBAの会がその一翼を担って実践し続けるところを、ずっと見てもらえれば嬉しいですね。（文：清水）

### 活動報告

- 5月16日 ROBAの会3周年記念講演  
講師：本田豊氏  
ROBAの会第4回定例総会
- 5月22日 全国路面電車ネットワーク総会 in 岐阜
- 5月29日 福井市NPO推進議連主催意見交換会
- 5月31日 福井鉄道福武線活性化検討協議会参加
- 6月3日 第21回まちづくり懇談会  
福井県立大学ROBAの会講義
- 6月8日 6月運営会議
- 6月21日 全国都市再生モデル調査最終提出
- 6月25日 6月例会・ROBA勉強会「福鉄活性化次の一手 ROBAならどうするワークショップ」

### 今後の予定

- 7月1日(木) 日立電鉄沿線市民団体来福交流会  
第3回アドバイザー会議(報告会)
- 7月8日(木) 第22回まちづくり懇談会
- 7月9日(金) マップ・バスマップサミット部会
- 7月13日(火) 運営会議
- 7月17日(土) 中部地区路面電車サミット in 岐阜
- 7月18日(日) 群馬県公共交通活性化フォーラム  
参加(林h他)
- 7月19日(月) わたらせ渓谷鉄道ワークショップ  
参加(林h他)
- 7月23日(金) 7月例会

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

都市計画(社団法人 日本都市計画学会機関紙)

25 Apr. 2004 Vol. 53/No. 2

ISSN 0495-9280 248 日本都市計画の情報発信

「日本の都市計画は世界にどう見られているのか」、「日本の都市計画が世界にアピールできる点はあるか」これは今月の「都市計画」のテーマである。よく規制の緩さが批判される日本の都市計画であるが、多用途の混在した魅力ある市街地、鉄道や道路の急速な整備で欧米をはるかに凌ぐ速度での都市化を、目立ったスラムの形成を見ずに達成できたことは評価されるべきであるが、更なる魅力作りには課題が多い。短い文章ではあたりまえの結論になるが、多方面から外国人の言葉を借りて書かれると納得してしまうから不思議である。

上に書いたようなことをぼんやりと思っていたが、それを確信できる客観的な意見が欲しいという人におすすめの書である。

(文・美濃部)

## トップニュース：中部地区路面電車サミット in 岐阜開催

去る7月17日、岐阜市のグランベール岐山において、第3回中部地区路面電車サミット in 岐阜が開催されました。岐阜は名鉄岐阜市内線・揖斐線・美濃町線・田神線の存廃問題が大詰めを迎えており、その緊張感が全体を覆うサミットとなりました。ROBAの会では高間さんがトランジットモール社会実験の報告をされましたが、他に、万葉線株式会社の吉田氏から、万葉線存続後のマイレール意識高揚とLRTV導入によって乗降客数が大幅に増加し、近い将来の収支均衡が視野に入っている旨の報告がなされたのが印象的でした。

しかし、クライマックスが待っていました。岐阜の堀さんが閉会を告げようとした時、一人の老婦人がステージ前の堀さんに詰め寄りました。途中からマイクが渡されたのですが、「えらい人ばかりが発言して、私たちが発言する機会が与えられない。最初の会合からずっと参加しているが、発言しようと思ってもできなかった。発言する機会をつくって欲しい。」というもので、その言葉が終わるか終わらないかのうちにもう一人、白髪のかくしゃくとした老人が、「私は岐阜で最初に自動車販売店を始めたが、ヨーロッパに毎年行っており、LRTもよく知っている。これからは自動車ばかりではだめで、電車は残さなければならない。もっと今のこの婦人のような市民を運動に巻き込むべきだ。」と発言されました。市民の声が湧き出した瞬間、そして誰もがこのサミットの成果を認めた瞬間でした。(追伸：その5日後、残念ながら、岐阜市長は市議会に存続の断念の意向を伝えました。来年は福井での開催です。)

(文：清水)

7月 1日 日立電鉄沿線市民団体来福交流会 第3回アドバイザー会議(報告会)	8月 1日(日) ライフアンドシティ-ROBA取材
7月 8日 第22回まちづくり懇談会	8月 5日(木) ご近所の底力収録
7月 9日 マップ・バスマップサミット部会	8月 8日(日) 鉄道まちづくりシンポ常陸太田
7月10日 札幌LRTの会臼井副会長来福交流会	8月10日(火) 8月運営会議
7月13日 運営会議	8月12日(木) 第23回まちづくり懇談会
7月17日 中部地区路面電車サミット in 岐阜	8月27日(金) 8月例会
7月18日 群馬県公共交通活性化フォーラム参加	8月随時 マップ・バスマップサミット部会
7月19日 わたらせ溪谷鉄道ワークショップ参加	9月 2日(木) ご近所の底力(ROBA出演)放映
7月23日 7月例会	

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

「鉄道でまちづくり」-豊かな公共領域がつくる賑わい-

北村隆一ほか著 2004年3月15日第1版

学芸出版社 ISBN 4-7615-2338-7

定価2400円+税

北村隆一先生の他に、秋山孝正、大矢正樹、土井勉、山本俊行の計5名による著書で、題名のとおり、鉄道の車内から鉄道で人が集まる場がまちの魅力を作っている事例をいろいろ書いている。

最後に提言的なことが書いてあるが、北村先生の本だから、日常のまちづくり運動の理論的支えになると思って買うと少し期待はずれ、いろいろな考え方、事例を見るために買って損はない。(美濃部)





## トップニュース：全国バスマップサミット in 福井開催へ

昨年、岡山で第1回が開催された「全国バスマップサミット」。今年、第2回目を福井で開催します。昨年は幹事団体が、岡山、広島、松江、福井の4団体でしたが、今年、さらに岐阜が加わって5団体になる予定です。昨年4月に「ふくいのにのりマップ」を発行した時、岡山 RACDA の岡さんが「全国の市民団体がマップをつくって、全国どこにもこのマップがあるようになるといい」とおっしゃいましたが、その取り組みが一步步広がっていった欲しいものです。今年のサミットでの基調講演はまち歩きからまちづくりを進める取り組みの第一人者の村山友宏氏。そのキーワード、「ホジロバ(歩自路バ)交通」もROBAの会にぴたり。9月18日の野学・夜学、19日の本会議と村山さんのお話がたっぷり聞けるので、今から楽しみです。なお、7月の福井豪雨の爪あとはまだまだ消えているわけではなく、被害のひどかった美山や池田、今立、河和田(鯖江)など、復旧作業が今も続けられている地域があります。私たちはそれを知識や意識の中にきちんと位置付けて活動をおこなっていくことも忘れてはならないと思います。(文：清水)

8月 1日 秋色のまちめぐり打合せ(風流塾協同)	8月 31日(火)秋色のまちめぐり打合せ(風流塾協同)
8月 5日 「ご近所の底力」収録(NHK 東京)	9月 2日(木)「ご近所の底力」(ROBA 出演)放映
8月 7日 鉄道まちづくりサミット in 常陸太田 参加(清水)	9月 7日(火)9月運営会議
8月 9日 マップ・バスマップサミット部会	9月 9日(木)第23回まちづくり懇談会
8月 10日 8月運営会議	9月随時 マップ・バスマップサミット部会
8月 11日 秋色のまちめぐり打合せ(風流塾協同)	9月随時 秋色のまちめぐり打合せ(風流塾協同)
8月 19日 マップ・バスマップサミット部会	9月 18日(土)秋色のまちめぐりオープニング
8月 21日 秋色のまちめぐり三国まち歩き調査	9月 18日(土)全国バスマップサミット in 福井
8月 26日 秋色のまちめぐり勝山まち歩き調査	9月 19日(日)全国バスマップサミット in 福井
8月 27日 8月例会 ROBA 勉強会(田原町結節)	9月 24日(金) 9月例会

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

市民のための道路学

上岡直見著 緑風出版 2400円+税

私は上岡直見さんのファンであるから、書評を書くのに不適なのかもしれない。道路中心の土木政策を変えたいと思いながら、人を説得する武器を持ち得ない人に、格好の武器を与えてきた上岡さんが、またやってくれました。

交通問題に対しては、仮定の置きかたによって、鉄道有利自動車有利いろいろな数字が作れてしまうことを自ら解きながら鉄道有利の数字を作って例示してくれる親切さ、大胆さ。

武器を作っていないながら、敵の立場の人に対しても同情を忘れないやさしさ。今回は本の内容にはあまり触れませんでした。ROBAの会員の皆様には絶対おすすめです。

私の本の引用もあります。道路の資金制度のことは他にも書いている人がたくさんいるので、本当は無料駐車場のことを引用してほしかったのだけれども。(美濃部)



## トップニュース：今年度最大のイベント無事終了！

去る9月18日(土)・19日(日) 第2回全国バスマップサミット in 福井が福井大学のアカデミーホールで開催され、市民自らバスマップづくりに取り組む多くの団体・個人が全国各地から福井に集まり、これまでの成果の発表、ノウハウの交換、議論を行いました。昨年の第1回(岡山)の幹事団体4団体でしたが、2回目の今年は2団体増えて岡山、広島、松江、岐阜、仙台、福井の6団体となりました。今年は村山友宏先生を招き、夜学では「ホジロバ交通(歩行者・自転車・路面電車・バス)と遊歩都市」をテーマに、また、本会議の記念講演では「街を活性化する街づかいマップ」をテーマに講演を行って頂きました。パネルディスカッションでは各団体の報告からたくさんの細かな課題が浮かび上がり、熱い議論が交わされました。参加は18日が約30人、19日が約100人と盛況でした。来年は松江で第3回が開催されます。(文：清水)

### 活動報告

- 8月31日 まち色めぐり打合せ(風流塾共同)
- 9月2日 ご近所の底力(ROBA出演)放映
- 9月5日 田原町直通検討会議準備
- 9月7日 田原町直通検討会議
- 9月7日 9月運営会議
- 9月8日 まち色めぐり打合せ(風流塾共同)
- 9月9日 第23回まちづくり懇談会
- 9月12日 マップ・バスマップサミット部会  
まち色めぐり打合せ(風流塾共同)
- 9月18日 まち色めぐりオープニング
- 9月18日 全国バスマップサミット in 福井
- 9月19日 全国バスマップサミット in 福井

### 今後の予定

- 9月24日(金) 9月臨時運営会議
- 10月9日(土) NPOフォーラム参加
- 10月10日(日) NPOフォーラム参加
- 10月12日(火) 10月運営会議
- 10月14日(木) 第24回まちづくり懇談会
- 10月随時 まち色めぐりツアー(風流塾共同)
- 10月22日(金) 10月例会
- 10月22日(金) 全国路面電車サミット in 高知参加
- 10月23日(土) 全国路面電車サミット in 高知参加
- 10月24日(日) 全国路面電車サミット in 高知参加



「レンタサイクルでちょっと遠出」

えちぜん鉄道サポート団体「ぷらっと・ふくい」主催の写真コンテストで最優秀賞をいただきました。今回は家族がテーマということで、友人家族にモデルになっていただきました。

近いうちに祝賀パーティを開く予定です。祝賀パレードはありません。カメラはコンタックスST(銀塩カメラ)レンズは35ミリF2.8です。

(林照)

## トップニュース：福井鉄道ダイヤ改正

このたび、福井鉄道のダイヤが改正されました。目立つ改正点は、水落、家久、西武生に新たに急行が止まるようになり、準急が廃止されたこと。それにより田原町行き急行が朝一本出現し、裁判所前にも止まることになりました。同時期にJRのダイヤが改正されて福井 - 武生間がほぼ30分間隔となりましたので、福井鉄道として差別化を図る形となりました。新たに急行の止まる水落駅には、同時にパークアンドライド駐車場が整備されました。



大名町交差点にLRVの走る合成写真。いつかは・・・

経営環境が厳しいというも

の、まだまだ変わる余地のある福井鉄道。LRV導入も含め、これからの取り組みに大いに期待したいと思います。

(文：清水)

### 活動報告

- 10月 9日 NPOフォーラム参加
- 10月10日 NPOフォーラム参加
- 10月12日 10月運営会議
- 10月14日 第24回まちづくり懇談会
- 10月17日 武生まち色めぐりツアー
- 10月22日 全国路面電車サミット in 高知参加  
~ 24日
- 10月23日 まちづくりフェアROBAゼミナール  
「まちなかに住む5つの魅力」開催

### 今後の予定

- 10月24日(日) 全国路面電車サミット in 高知参加  
[22日(金)~24日(日)]
- 11月 4日(木) まちづくり懇談会オープンセミナー  
「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 11月 5日(金) 鉄道まちづくり会議交流会参加
- 11月 6日(土) 鉄道まちづくり会議 in 平田参加
- 11月 7日(日) マイレール 三段峡サミット参加
- 11月 9日(火) 11月運営会議
- 11月随時 まち色めぐりツアー (風流塾共同)
- 11月26日(金) 11月例会





## トップニュース：「鉄道を残す」国土交通省鉄道局

去る11月6日(土)第1回鉄道まちづくり会議 in 平田が島根県平田市で開催され、全国の鉄道事業者、鉄道の問題を抱える行政、市民団体、一般市民等が参加しました。この鉄道まちづくり会議は会長を勝山市の山岸正裕市長が務めておられるため、昨年の鉄道まちづくり会議設立を決めた鉄道まちづくりシンポジウム in 勝山と同様、福井県内関係者の皆さんも多数参加されました。基調講演は国土交通省鉄道局財務課長の室谷正裕氏でしたが、その中で「鉄道を残す。そのために取り組んでいく」という趣旨の発言があったのが印象的で、参加者は大変心強く感じたと思われます。また、パネルディスカッションの中で、コーディネーターの京都大学の中川大 助教授から、「赤字を補填するというのではなく、効果に対して税金を投入するという考え方が必要」という発言がありましたが、福井でも問題視された「赤字」という概念を改める時期に来ているのではないかと改めて考えさせられました。全体として有意義な会議でした。(文：清水)

### 活動報告

- 10月22~24日 全国路面電車サミット in 高知
- 11月4日 まちづくり懇談会オープンセミナー  
「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 11月5日 鉄道まちづくり会議交流会参加
- 11月6日 鉄道まちづくり会議 in 平田参加
- 11月7日 マイレール 三段峡サミット参加
- 11月9日 11月運営会議
- 11月14日 ひたち未来シンポジウム参加
- 11月26日 11月例会

### 今後の予定

- 12月1日(水)まちづくり懇談会オープンセミナー  
「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 12月7日(火)12月運営会議
- 12月11日(土)どうする京都の交通とまちづくり  
参加(清水)
- 12月18日(土)臨時総会・ROBA忘年会
- 12月随時 まち色めぐりツアー(風流塾共同)

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

行政経営の時代 徳山日出男

日経BP社 1,905円+税

ISBN4-8222-2037-0

著者の役職、国土交通省道路局企画課道路事業調整官は、道路関係予算すべての配分をとりしきるポストであり、日本の道路行政の実務のすべてを握っている人と言っても過言ではない。行政の評価、ユーザー主義など、行政のあり方が前半、道路種別別に行われてきた道路行政が、目標別になんて変わってきているといった話が後半。日本の道路行政の向かっている方向がよくわかる本であり、道路行政の外の人にはおすすりである。個人として書いている本ではあるが、やはり半分行政本であり、現在の道路行政の方向性に批判的な記述は見当たらない。

ただ、目標達成型行政になると、道路行政は総合交通政策を取らざるを得ないはずであるから、具体の現場の道路行政が目標管理型になっり、道路を作ることに目的を見出しているようであれば、それを批判する武器として利用価値の高い本であろう。(美濃部)

# ROBA NEWS



## トップニュース：地方鉄道についての報告 三段峡サミットから

平成16年11月7日、前日の鳥根県平田市での第1回鉄道まちづくり会議に引き続いて、旧JR可部線の沿線、広島県安芸太田町で開催された「三段峡サミット」は、存続運動にもかかわらず鉄道の廃止が決められてしまった地域等の住民代表と、アドバイザーとして学識経験者や鉄道事業者が一堂に会し、日本はこれから鉄道をどのように維持し、再生させていくのかというテーマで開催されました。基調講演は京都大学大学院助教授の中川大先生、コーディネーターは岡将男RACDA会長、その他、岡山電気軌道の磯野省吾常務もアドバイザーとして参加しました。ROBAの会からは私が総合司会として参加しました。現状の要因として浮き彫りになったのは道路と鉄道の圧倒的な予算規模の格差。結果、鉄道の維持・整備に使える財源が行政にないこと。でも、会議の最後に中川先生が示された、「国の政策が変わろうとしている。長期を見据えた時、今が頑張りどころ。」というコメントが参加者や観客の心に重く響いたのではないのでしょうか。

鉄道まちづくり会議編「どうする？ 鉄道の未来 地域を活性化するために」刊行致しました。(文：清水)

### 活動報告

- 12月 1日 まちづくり懇談会オープンセミナー  
「まちなか駐輪場の適正配置と  
放置自転車について」
- 12月 7日 12月運営会議
- 12月 11日 どうする京都の交通とまちづくり  
(参加・清水)
- 12月 11日 乗って残そう貴志川線シンポジウム  
(参加・高橋)
- 12月 18日 臨時総会・ROBA忘年会

### 今後の予定

- 1月 11日(火) 1月運営会議
- 1月 19日(水) まちづくり懇談会  
「まちなか駐輪場の適正配置と  
放置自転車について」
- 1月 28日(金) 1月例会

### ゆうじんの部屋 書籍紹介

環境リスク学 不安の海の羅針盤

中西準子 日本評論者 1800円+税

最近、辛口書評が多く、特定の人へのみのお奨めすることが多かったゆうじんの部屋であるが、この本は手放しでお奨めする。私の思想遍歴そのものをたどるような本で、あり、私は大いに共感したし、異なる価値のバランスに悩む人たちには示唆を受けるところが大いにあると確信する。

下水道の大規模化を批判してきた著者が、変節と言われながらも、経済と環境のバランスの基準を真剣に考えるようになる過程、それは、さまざまな環境紛争を解決するには、リスク評価しかないという現場に根ざした知恵である。

私の大学時代は、ちょうどリスク評価が定着する時期で、例えば橋の強さを決めるとき、橋が破壊した場合の損失と、破壊する確率を下げるための費用が過大となり、他の価値ある行為に回せる資源を減らしてしまう損失のバランスから決めるという考え方が常識になってきていた。

クルマに依存した都市と、公共交通の充実した都市で、平均損失余命(QOL 損失を含む)を比較するといった手法でどちらがいいか比較したりできないだろうか。(ちなみに本の中では、県立大の岡先生の名前も出てきます)

(美濃部)



# ROBA NEWS



## トップニュース：福井鉄道に岐阜の低床車を導入！？

最近の新聞報道にもありましたように、岐阜の低床電車800形が福井鉄道に導入される可能性が出てきました。岐阜の800形といえば2001年の福井駅前電車通りトランジットモール社会実験の時に借りてきたあの低床電車です。しかも導入が計画されているのは2両。他にも岐阜から何編成かの車両導入が検討されています。低床電車が導入されれば、ROBAの応援している「スマイルトラム」の実現に一步近づく可能性があり、福井の公共交通は画期的な利便性向上に向かって一步踏み出すこととなります。また、福武線全線のホーム切り下げという課題がありますが、これはこれでサンドームの近くや鯖江市北部の新興住宅街、武生市北部の新興住宅街等に小さなコストで駅を新設することが可能になるというメリットも出てきます。さらに、大名町交差点の福井駅前 武生方面短絡線の実現も視野に入り、大きな時間短縮効果も見込めます。今年、福武線はLRTに一步近づくかもしれません。(文：清水)

### 活動報告

- 1月11日 1月運営会議
- 1月12日 中部運輸局ヒアリング
- 1月19日 まちづくり懇談会「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 1月22日 「北陸をつなぐ公共交通シンポジウム相談会」参加
- 1月23日 幹事会
- 1月28日 1月例会

### 今後の予定

- 2月7日(火) 2月運営会議
- 2月16日(水) まちづくり懇談会「まちなか駐輪場の適正配置と放置自転車について」
- 2月25日(金) 2月例会
- 2月随時 LRT部会
- 2月随時 バスマップ部会

## ゆうじんの部屋 書籍紹介

どうする？鉄道の未来

鉄道まちづくり会議・編 緑風出版

1800円+税 ISBN4-8461-0419-2

書評を書くのにこれだけ迷った本は初めてです。一つには、ROBAの皆さんが既にたくさん読んでいるだろうから。そして、主著者のひとりの清水さんの目に確実に触れるのだから。

この本は、鉄道まちづくり会議編とはいっても、上岡直見、清水省吾共著という臭いがぷんぷんしていて、ROBAの会で議論してきたことそのままなので、理論の限界も何も自分の書いた本のようにわかってしまってこそばゆい本でした。清水さんには、日本の公共交通とROBAの会の発展のためにももっと有名になって欲しいのに、著者に名前が出てこないのが残念です。素人にもかりやすいように丁寧な言葉で書いてあるのですが、それが却って運動本のQアンドAによくある「騙されているような感じ」を受けてしまいます。どこかの政党のパンフレットのように。

揮発油税を道路以外に使わせないゴリゴリ論者と、鉄道派の公開討論でもやりたくなくなってきました。私は後者なら立派な論客である自信はあるのですが、前者として論陣を張る自身はありません。仕事より遊びのほうが好きということですね。ちなみに116ページの写真には私も写っていました。(美濃部)